ViOnyx

設置ガイド

バージョン 1.03

日本語

JA 101.00.VQF12-R

suprema

SECURITY & BIOMETRICS

目次

安全のための注意事項 4

遵守事項 4

はじめに 9

同梱物 9

各部の名称と機能 10

設置と接続 15

カメラの設置 15

ケーブルの接続と設定 27

Micro SDカードおよびUSBデバイスの接続（対応予定） 33

Webサーバーへの接続と設定 34

カメラのWebサーバーに接続する 34

パスワードの設定 35

ログインする 37

保守・管理 38

工場初期化 38

シリカゲルモジュールを交換する 39

トラブルシューティング 42

故障報告前の確認事項 42

製品仕様 44

一般 44

カメラ 44

映像・音声 45

インターフェース 45

電気仕様 46

サイズと重量 47

規制認証情報 48

FCC 準拠情報 48

IC 情報 48

欧州連合適合宣言（CE） 49

付録 50

免責事項 50

著作権に関するお知らせ 51

オープンソースライセンス 51

カメラ設置の注意事項 55

安全のための注意事項

ユーザーの危険や財産上の損害を防ぐため、製品を使用する前に本書を必ずお読みいただき、製品を安全かつ正しくご使用ください。

本書でいう「製品」とは、本体とともに提供されるすべての構成品を含みます。

遵守事項

警告
これは、製品を使用する際に違反すると重傷や死亡に至るおそれがある警告事項を示すときに使用します。

注意
これは、製品を使用する際に違反すると軽傷や製品の損傷が発生するおそれがある注意事項を示すときに使用します。

情報
これは、製品を使用する際の参考事項や追加情報を提供するときに使用します。

ノート

これは、製品を使用する際の参考事項や追加情報を提供するときに使用します。

⚠ 警告

インストール

大容量の電源装置を使用する場合は、配線ミスに十分ご注意ください。

- 配線を誤ると、重大な火災、感電、製品の損傷が発生するおそれがあります。

ユーザーが製品を任意に設置したり修理したりしないでください。

- 火災、感電、けがの原因となります。
- ユーザーによる任意の設置や修理によって製品が損傷した場合、無償修理サービスは提供されません。

製品を直射日光が当たる場所、湿気・ほこり・すすの多い場所、ガス漏れの可能性がある場所に設置しないでください。

- 火災または感電の原因となります。

製品を屋外に設置する場合は、ひさしがあり通気の良い場所に設置してください。

製品を屋外に設置する場合は、完全に密閉された筐体を使用しないでください。

- 直射日光により筐体内部の温度が上昇し、過熱による火災、感電、製品損傷の原因となります。

製品を電気ヒーターなど熱が発生する場所に設置しないでください。

- 過熱による火災または感電の原因となります。

水気のある場所に設置しないでください。

- 湿気による感電または製品損傷の原因となります。

電磁波障害のある場所に設置しないでください。

- 感電または製品損傷の原因となります。

カメラを壁面や天井に設置する際は、ぐらつきのないようしっかり取り付けてください。

- 製品が落下すると重大なけがの原因となります。

単一の電源アダプターに複数台のカメラを同時に接続しないでください。

- 許容電力を超えると、過熱や火災の原因となります。

カメラを設置する際は、他の人が設置場所に近づかないように管理してください。

- 製品の落下やその他の事故により重大なけがの原因となります。

ケーブルが不適切な場所に挟まったり、電線の被覆が損傷した場合、製品の破損や火災につながる可能性があるため、注意してください。

使用

製品内部に水、飲料、薬品などの液体が入らないように注意してください。

- 火災、感電、製品損傷の原因となります。

破損した電源アダプターやプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

- 接続が不安定な場合、火災または感電の原因となります。

電源コードを無理に曲げたり破損させたりしないでください。

- 火災または感電の原因となります。

製品の上部に金属類（硬貨、工具など）や導電性の物、または液体を入れた容器を置かないでください。

- 感電、火災、または物の落下によるけがの原因となります。

承認されていない、または不適切な種類のバッテリーに交換しないでください。

- 火災または爆発の原因となります。

> **電源供給の要件**
>
> PS2 または LPS 認証を受けた電源装置のみ使用してください。

⚠ 注意

インストール

製品を設置する前に本書を必ずお読みいただき、製品を安全かつ正しく設置してください。

電源ケーブルおよびケーブルを配線する際は、必ず接続するすべての装置の電源を切った状態で配線・接続してください。

- 装置が誤作動を起こすおそれがあります。

製品に電源を接続する前に、もう一度マニュアルを確認して配線が正しいことを確認してから電源を接続してください。

製品を直射日光や紫外線が直接当たる場所に設置しないでください。

- 製品の損傷、誤作動、変色、変形の原因となります。

電源ケーブルなどを通行場所に放置しないでください。

- 身体障害または製品損傷の原因となります。

磁石、テレビ、（CRT）モニター、スピーカーなど磁力の強い物体の近くに設置しないでください。

- 故障の原因になります。

製品を壁面に設置する場合、シリコンなどで製品周囲を密封しないでください。

- 故障の原因になります。

電源アダプターは IEC/EN 62368-1 の認証を取得し、端末の消費電力以上に対応する製品を使用してください。 Suprema で販売している電源アダプターの使用を推奨します。

- 適切な電源を使用しない場合、装置が誤作動するおそれがあります。
- 最大消費電流の規格は製品仕様の電源を参照してください。

電源装置と PoE+ 電源を同時に接続しないでください。

- 装置が誤作動を起こすおそれがあります。

完全に露出した屋外に設置する場合は、筐体の使用を推奨します。

- 防水・防塵性能が低下すると故障の原因となります。

PoE+ 電源で接続してください。 基本推奨仕様は PoE+ です。

- 標準 PoE を使用する場合、システムの消費電力によって製品の一部機能が制限されることがあります。

設置場所の下に貴重品や破損のおそれがある物がある場合は、事前に片付けてください。

- 予期せぬ事故につながるおそれがあります。

製品を取り付けたり取り外したりする際は、必ず保護手袋を着用してください。

- 作動中に熱くなった機器の表面に触れてやけどをするおそれがあります。

過度の力を加えて製品を無理に組み立てたり取り付けたりしないでください。

- 製品の破損や誤作動の原因となります。

化学物質や蒸気が発生する環境にはカメラを設置しないでください。 調理用油の成分も製品の破損や変形を引き起こす可能性があるため、キッチン周辺には設置しないでください。

- 製品に重大な物理的損傷を引き起こす原因となります。

製品を設置する際は、外観に化学溶液が付着しないよう注意してください。

- 一部の洗剤や接着剤などの成分を含む化学溶剤は、表面に深刻な損傷を与えるおそれがあります。

使用

製品を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

- 故障の原因になります。

製品のファームウェアアップグレード中に電源供給が中断されないよう注意してください。

- 故障の原因になります。

製品のボタン（タッチパッド）を無理に押したり、鋭利な工具で押したりしないでください。

- 故障の原因になります。

製品は -40°C～50°C の範囲内で使用し、極端に低温または高温で保管しないでください。

- 故障の原因になります。

製品を清掃する際はご注意ください。

- 製品の表面を清潔な乾いた布でやさしく拭いてください。
- 製品を消毒する場合は、乾いた布に消毒用アルコールを適量含ませ、製品表面をやさしく拭いてください。 イソプロピルアルコールを70～75%含む消毒用アルコールと、清潔で糸くずの出ない柔らかい布を使用してください。
- 消毒剤を製品に直接噴霧しないでください。

製品を本来の目的以外で使用しないでください。

- 故障の原因になります。

指定されていない工具を使用して無理に操作しないでください。

- 製品の破損や誤作動の原因となります。 必ず規格に合った工具を使用してください。

取扱説明書に記載されていない方法で製品を設置したり分解したりしないでください。

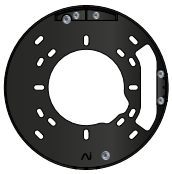
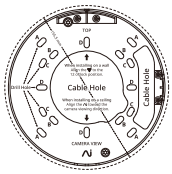
- 製品の正常な機能および性能は保証できません。

はじめに

ViOnyx カメラの同梱品および各部の名称と機能を紹介します。

同梱物

> **注意**
> 乾燥剤モジュールは密封包装の状態で提供します。空気にさらすと除湿性能が低下する可能性があるため、貼り付け直前に包装を開封してください。

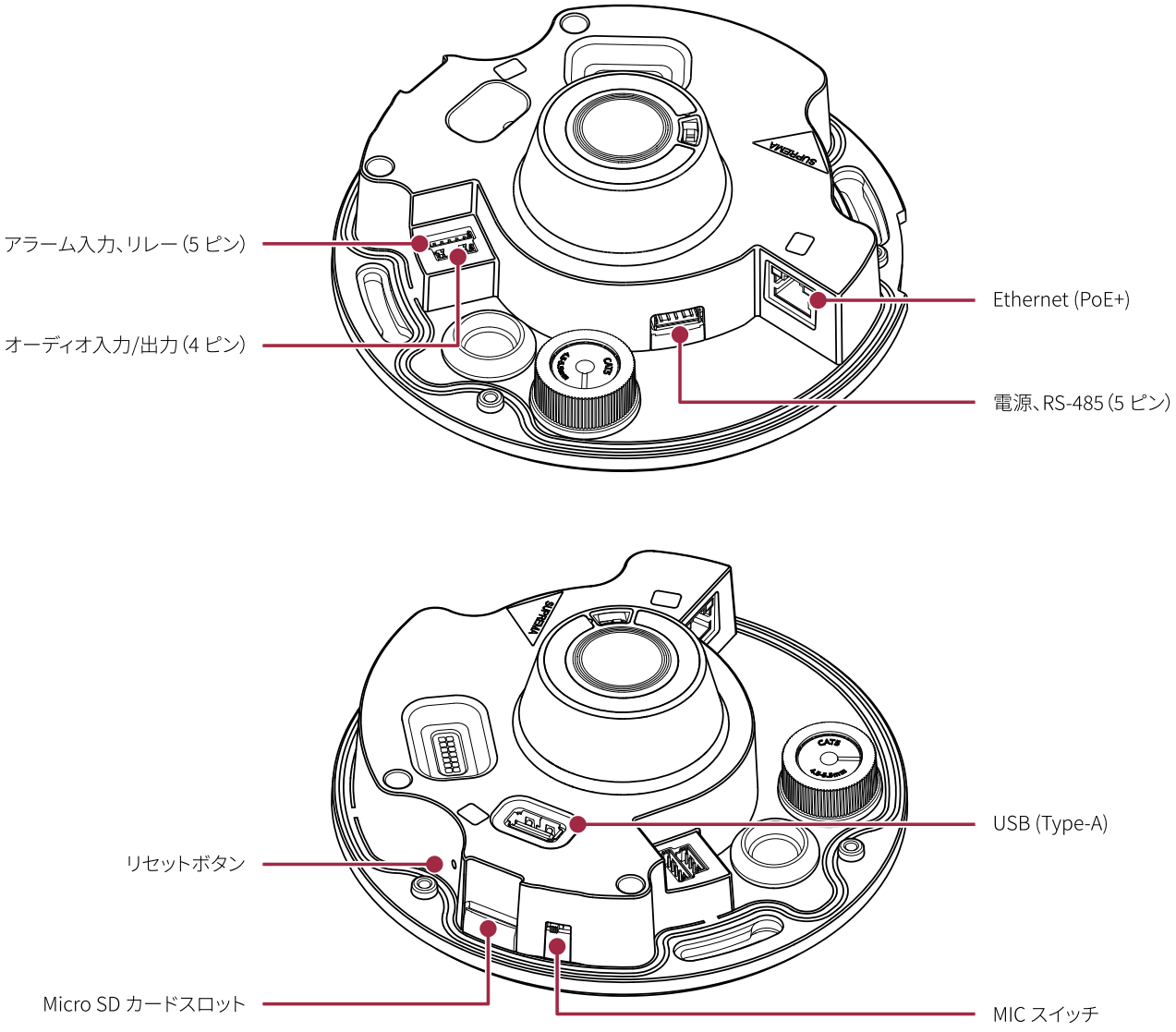
			
カバー	カメラ本体	マウントプレート	ドリルテンプレート

				
乾燥剤モジュール	接続ケーブル	イーサネットケーブル用防水ゴム	防水ゴムホールプラグ	固定用ネジ ×4
				
ダイオード	120 Ω 抵抗	T10ドライバー（星形）	クイックガイド	オープンソースライセンスガイド

> **情報**
> - 同梱品は設置環境によって異なる場合があります。

各部の名称と機能

内部ポートの構成



名称	機能説明
アラーム入力、リレー（5 ピン）	アラーム入力およびリレー出力用のケーブルを接続します。
オーディオ入力/出力（4 ピン）	オーディオ入出力用のケーブルを接続します。
Ethernet (PoE+)	イーサネットケーブルを接続します。 PoE+で電源供給が可能です。
電源、RS-485（5 ピン）	電源供給およびRS-485通信用のケーブルを接続します。

名称	機能説明
リセットボタン	すべての設定を工場出荷時の状態に初期化します。詳細については工場初期化を参照してください。
Micro SD カードスロット	Micro SD カードを挿入します。
USB (Type-A)	USB対応のアクセサリを接続します。
MIC スイッチ	マイクのスイッチを操作して、音声録音を物理的に制御します。

ケーブルとコネクタ

電源 & RS-485



ケーブル	ピン	名称	色
POWER	1	PWR +VDC	赤
	2	PWR GND	黒
RS-485	3	485 TRXP	青
	4	485 TRXN	黄
	5	485 GND	灰色

アラーム入力＆リレー



ケーブル	ピン	名称	色
ALARM_IN	1	ALARM IN	紫
	2	ALARM GND	黒
RELAY	3	RLY NC	オレンジ
	4	RLY COM	青
	5	RLY NO	白

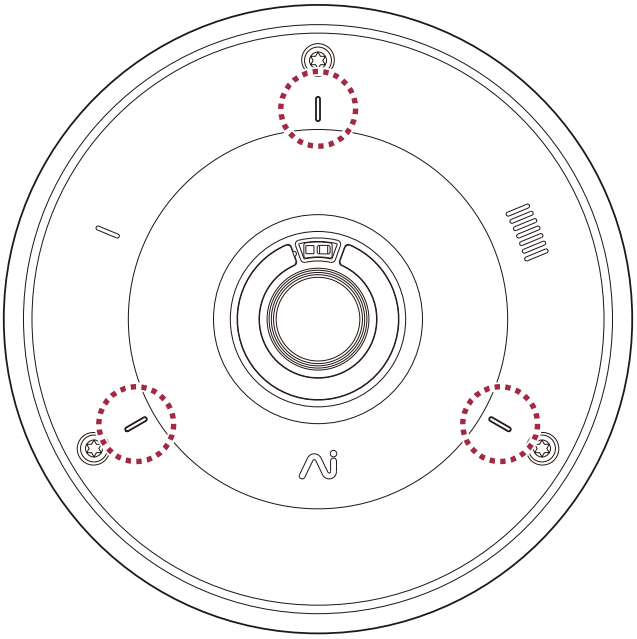
オーディオ入出力



ケーブル	ピン	名称	色
LINE_IN	1	LINE IN	白
	2	LINE IN GND	黒
LINE_OUT	3	LINE OUT	白
	4	LINE OUT GND	黒

LED ステータス表示灯

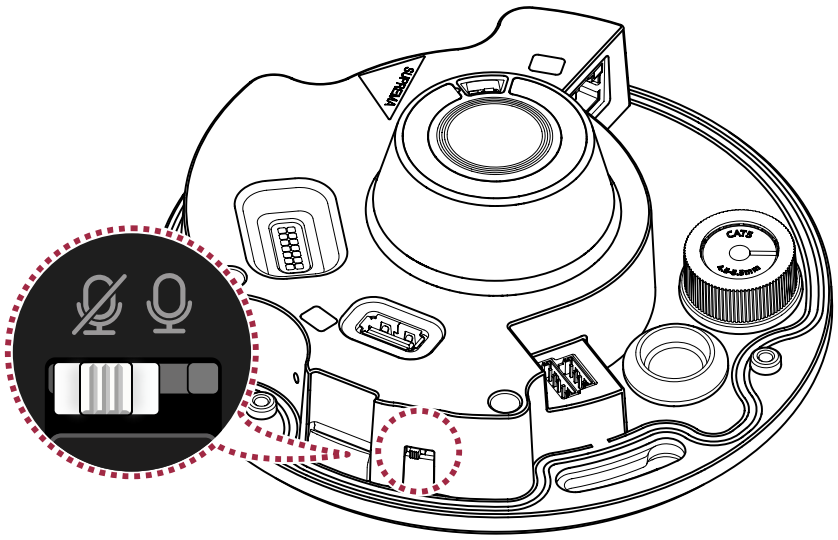
カメラカバー前面のLEDステータス表示は、動作状態や認証状態を色や点滅パターンで示します。



LEDの色	状態
緑	認証成功
赤	認証失敗
青	正常動作
青／緑で点滅	DHCP を有効に設定すると、IP アドレスを取得できない状態

マイクスイッチ設定（対応予定）

マイクスイッチを操作することで、カメラのマイクを物理的に遮断し、音声録音を防ぐことができます。



- 音声録音機能はデフォルトで無効になっています。
- 音声録音を使用するには、マイクスイッチを右にスライドして有効にしてください。

設置と接続

インストールに必要な全手順と接続例を提供します。

カメラの設置

以下の手順に従って、カメラを安全に設置してください。

設置前の注意事項

カメラを設置する前に、以下の注意事項を必ずお読みください。

警告

- カメラの重量の少なくとも 5 倍の荷重に耐えられる場所に設置してください。
- 壁や天井を点検し、補強が必要か確認してください。
- ケーブルが不適切な場所に挟まれたり、電線の被覆が損傷した場合、製品の破損や火災につながる可能性があるため、注意してください。
- カメラを設置する際は、他の人が作業場所に立ち入らないようにしてください。設置場所の下に貴重品や破損のおそれのある物がある場合は、事前に移動してください。
- 無理な力を加えて無理に組み立てると、製品の誤動作や破損の原因となる場合があります。必ず規格に合った工具を使用してください。

注意

防水/防塵に関する注意事項

- 本製品は IP66 および IP67 等級に準拠し、防水/防塵機能を備えていますが、直接の水の噴射や継続的な浸水がある環境には設置しないでください。
- 設置中にカバーを開ける際は、内部に水分や埃が入らないように注意してください。
- ケーブル接続時には、付属の防水部品を正しく取り付けてください。

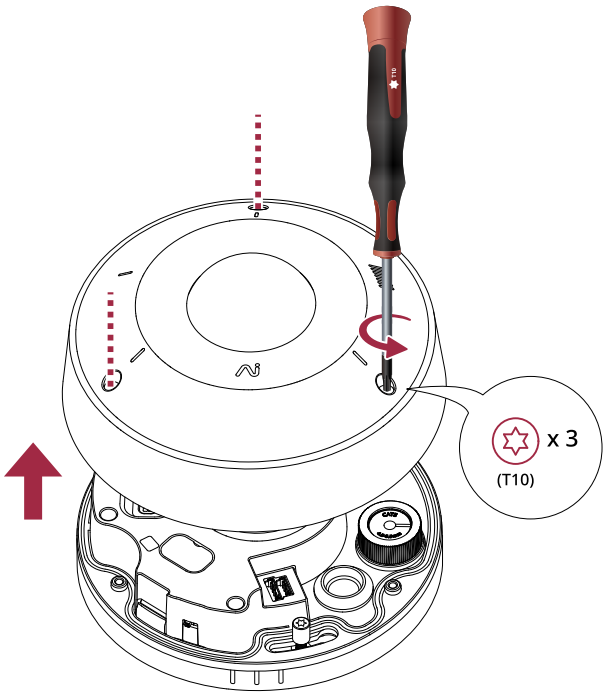
インストール

情報

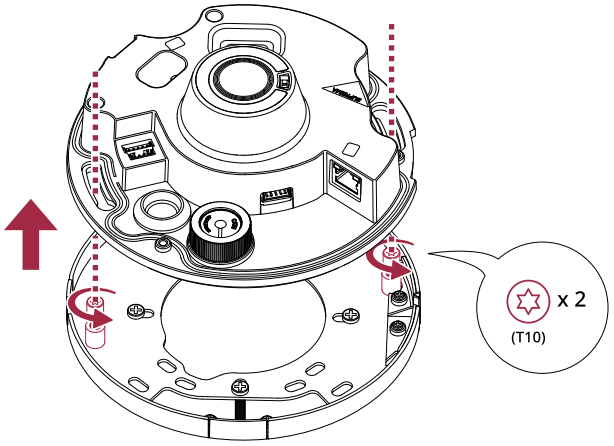
- 本カメラは広い視野を確保するため、基本的には天井への設置を推奨します。
- 直射日光や紫外線が当たる場所には設置しないでください。
- AI ベースの顔および物体認識の性能が低下するおそれがあるため、レンズに直射日光が当たる場所や逆光が強い場所は避け、設置位置を調整してください。

1 分離する

1. 付属の T10 星形ドライバーを使用して、ねじを反時計回りに緩め、カメラのカバーを取り外してください。



2. マウントプレートの固定ネジを反時計回りに緩め、マウントプレートとカメラ本体を分離してください。

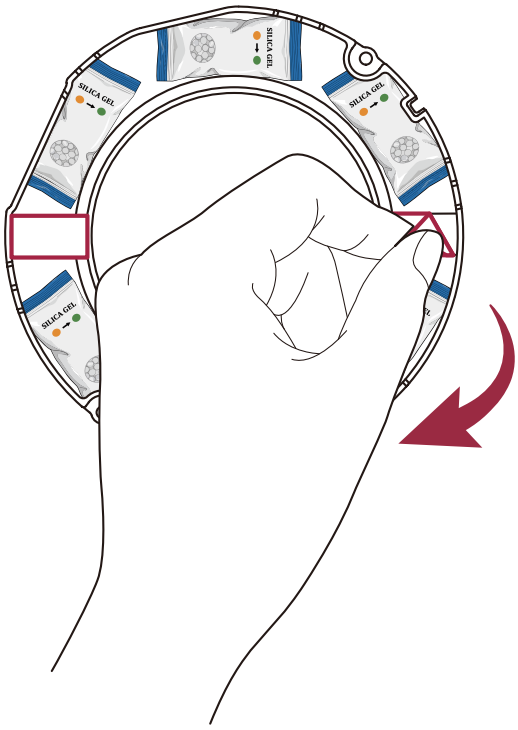


2 防湿モジュールの取り付け

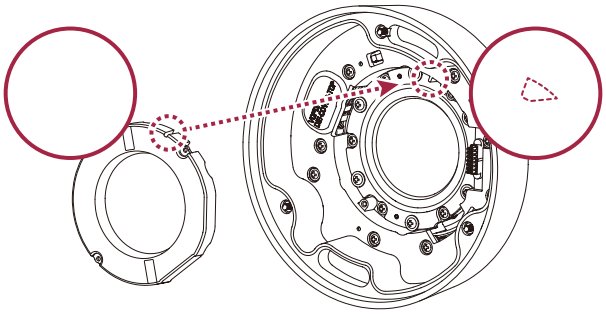
注意

乾燥剤モジュールは密封包装の状態で提供します。空気にさらすと除湿性能が低下する可能性があるため、貼り付け直前に包装を開封してください。

1. 防湿モジュールの背面にある保護フィルムを剥がしてください。

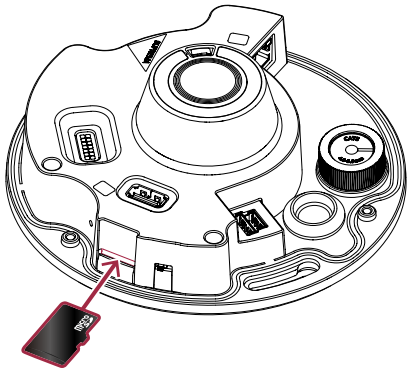


2. シリカゲルモジュールの溝をカバーの突起部に合わせて貼り付け、手で押してしっかり密着させてください。



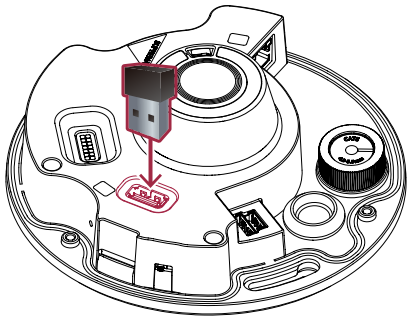
3 Micro SD カードを挿入する

カメラ本体の Micro SD カードスロットに Micro SD カードを挿入してください。



4 USB ポートにアクセサリーを接続する

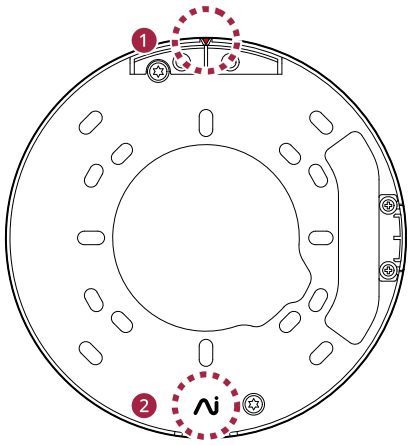
USB（Type-A）対応の他のアクセサリを接続する場合は、USB ポートに接続してください。



5 設置位置を決める

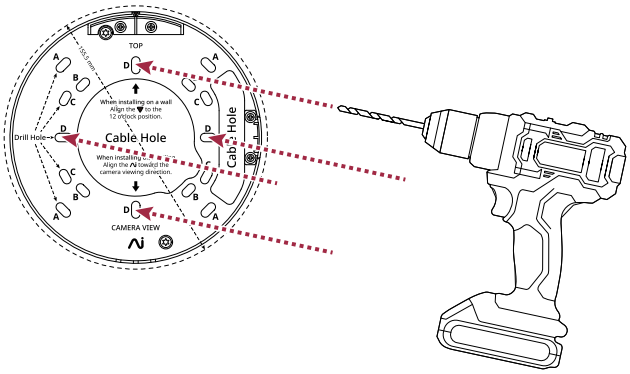
撮影方向を考慮して、カメラの設置位置を決めてください。

- **壁面に設置する場合:** マウントプレートの 1 **赤い三角形**が 12 時（上）を向くように取り付けてください。
- **天井に設置する場合:** マウントプレートの 2 **AIロゴ**が撮影方向を向くように取り付けてください。

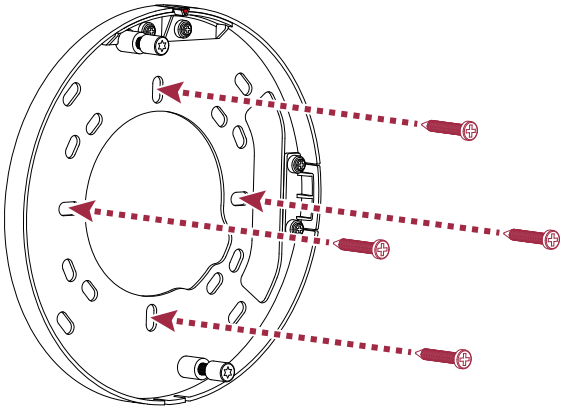


6 天井または壁に直接取り付ける

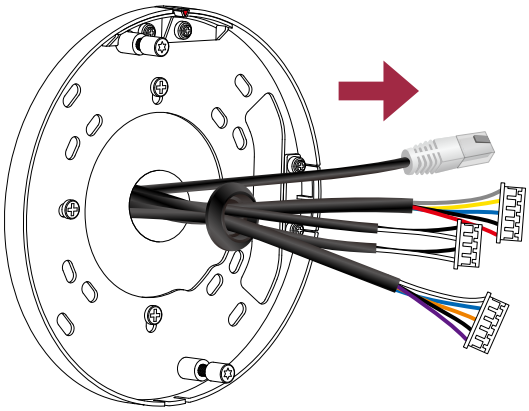
1. 設置箇所に付属のドリルテンプレートを貼り付け、ネジ穴とケーブル穴を開けてください。



2. 固定用ネジでマウントプレートをしっかり固定してください。



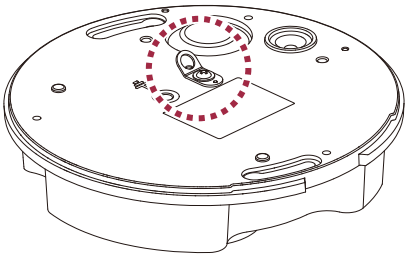
3. 接続するケーブル(電源、ネットワーク、オーディオ/アラームケーブルなど)をマウントプレートの適切な穴に通してください。



7 安全ワイヤーを接続する

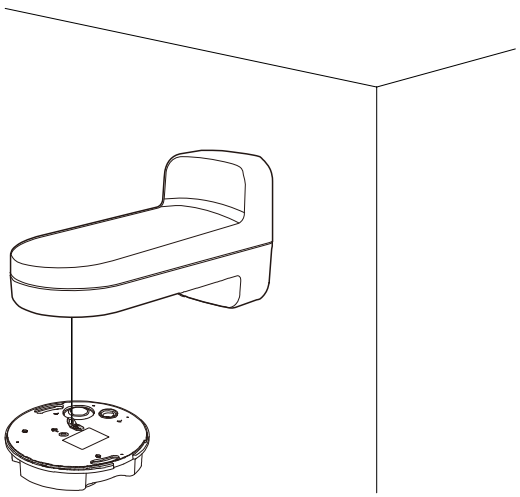
> **情報**
>
> - 安全ワイヤーまたはブラケットは基本構成品に含まれていません。設置環境に適した製品を別途購入して取り付けてください。
> - カメラ本体の安全ワイヤーリング径（6.0 mm）に合う安全ワイヤー製品を購入してください。

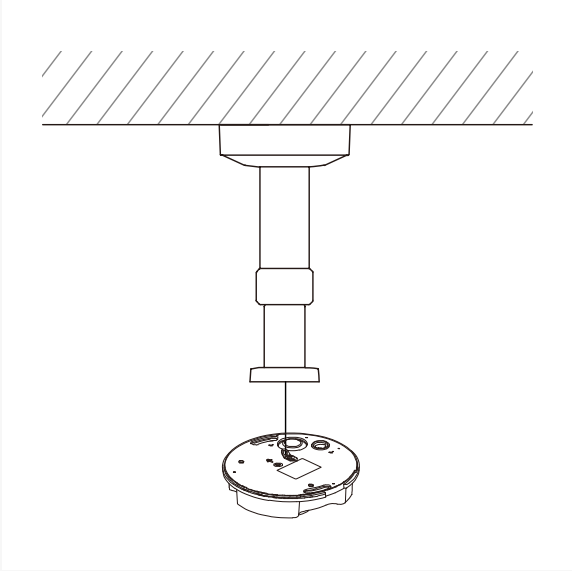
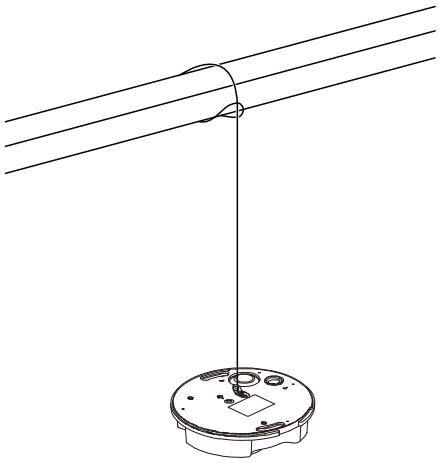
1. カメラ本体底面の安全ワイヤー用フックの位置を確認してください。



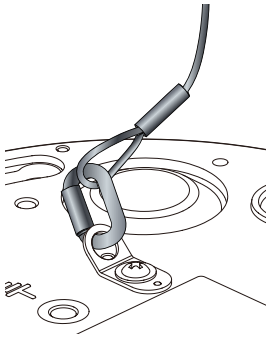
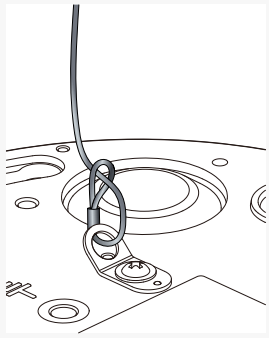
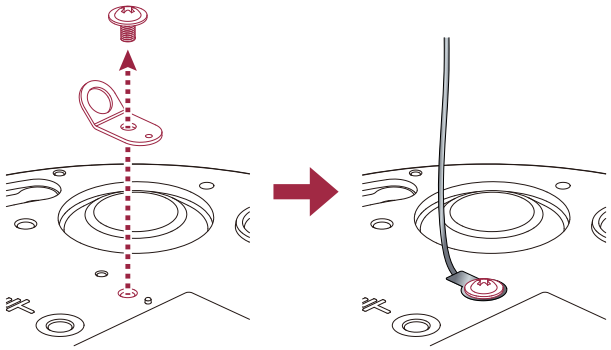
2. 落下防止のため、安全ワイヤーを壁や天井に設置したブラケットまたは構造物に接続してください。設置環境とワイヤーの種類によって固定方法が異なるため、以下を参照してください。

設置環境別の固定方法

設置環境	固定方法	
壁面設置時		壁面用ブラケットを壁に固定した後、安全ワイヤーの一端をブラケットに接続し、もう一端をカメラ本体の安全ワイヤーリングに接続して固定してください。

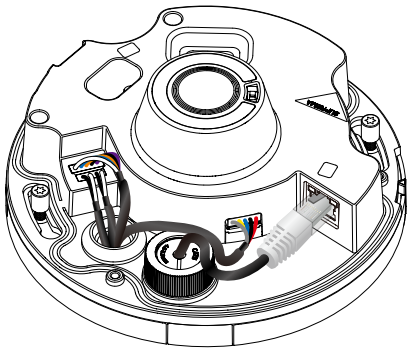
設置環境	固定方法	
天井設置時		天井用ブラケットを天井に固定した後、安全ワイヤーの一端をブラケットに接続し、もう一端をカメラ本体の安全ワイヤーリングに接続して固定してください。
天井構造物を使用する場合		安全ワイヤーを天井に設置された構造物に1周巻き付け、ワイヤーの一端をもう一端に通してください。通した端をカメラ本体の安全ワイヤーリングに接続して固定してください。

安全ワイヤーの種類別の固定方法

安全ワイヤーの種類	固定方法	
カラビナ型（スナップリング型）		ワイヤーを安全ワイヤー用フックに直接接続して固定してください。
リング型（ループ型）		図のように、ワイヤーを安全ワイヤー用フックに一周巻き付けて固定してください。
ラグ端子型（スクリュー端子型）		ねじを緩めて組み立て済みの安全ワイヤー用フックを取り外し、ワイヤーのラグ穴をカメラ本体のねじ穴に合わせて、ねじを回して固定してください。

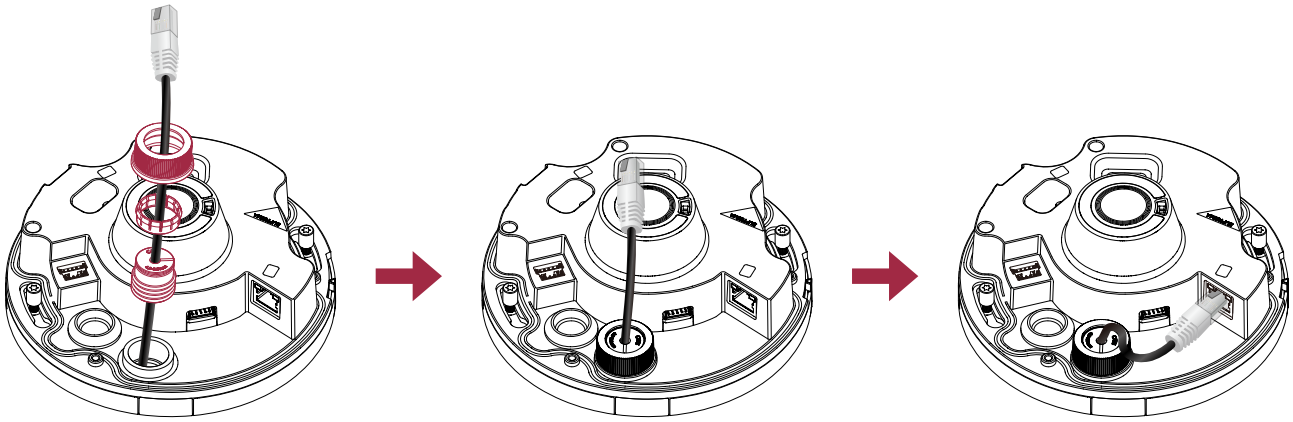
8 ケーブルを接続する

カメラ本体からイーサネットケーブル用の防水ゴムおよび防水ゴムのホールプラグを取り外し、必要なケーブルを本体に接続してください。



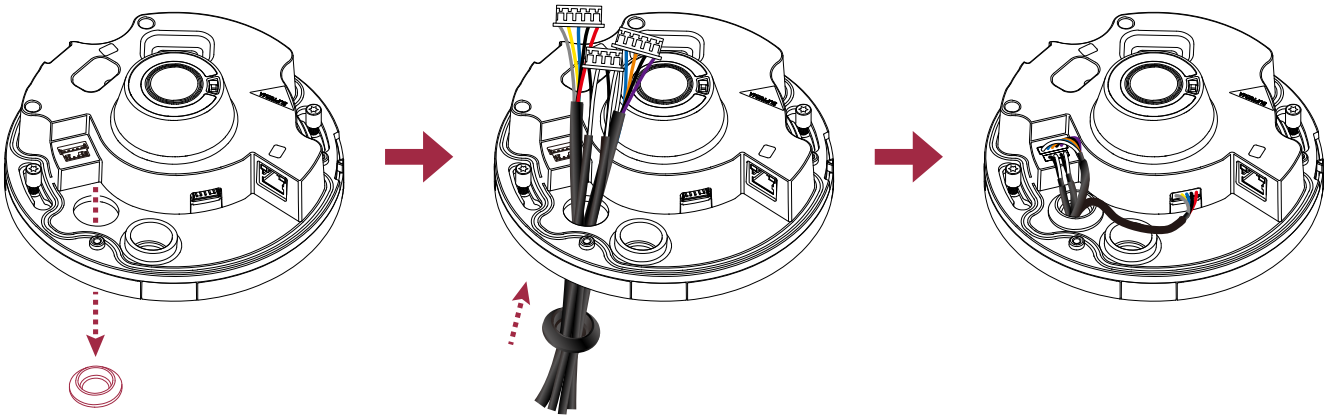
イーサネットケーブルの接続

1. イーサネットケーブルに付属の防水ゴムを取り付けてください。製品の防水のために、付属のイーサネットケーブル用防水ゴム（CAT5E、CAT6）の中から適切なものを選んで取り付けてください。
2. 本体のイーサネット用開口部に防水ゴムを取り付けてください。
3. イーサネットケーブル用の防水ゴムにジョイントとナットを取り付け、締め付けてください。



その他のケーブルの接続

本体の防水ゴムホールプラグを取り外した穴に接続ケーブルを通し、防水ゴムを取り付けてください。



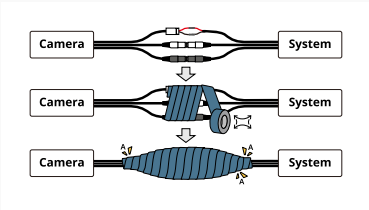
注意

ケーブルの防水処理

屋外設置の場合、ケーブル接続部の隙間から水分が入り込むことがあります。市販の防水ブチルゴムテープを使用し、以下の手順で防水処理することを推奨します。

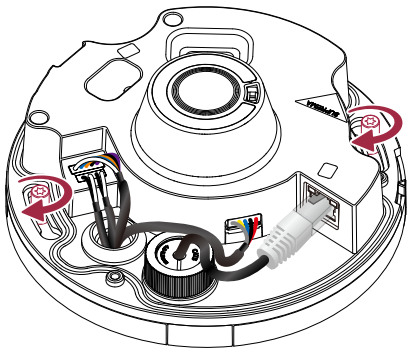
1. 電源、入出力、オーディオケーブルなど、必要なケーブルを接続してください。
2. ケーブル接続部からケーブルジャケット（A部分）まで、ブチルゴムテープが半分以上重なるように巻いてください。

- ケーブルジャケット（A部分）の防水処理が不十分だと、漏水の直接的な原因になるため、隙間なくしっかりとテーピングしてください。
- 防水用のブチルゴムテープは、元の長さの2倍以上まで伸びるブチルゴム製のテープです。テープを十分に伸ばしながら巻いてください。



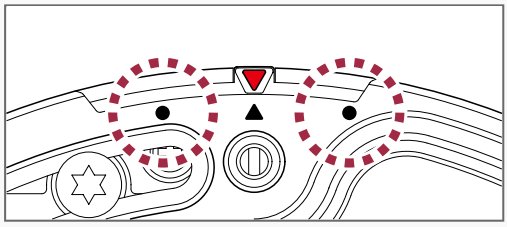
9 カメラ本体を取り付ける

1. マウントプレートの固定ネジを最後まで緩め、カメラ本体を印刷された刻印の中心（赤い三角）に合わせて取り付けた後、固定ネジを時計回りに回して固定してください。

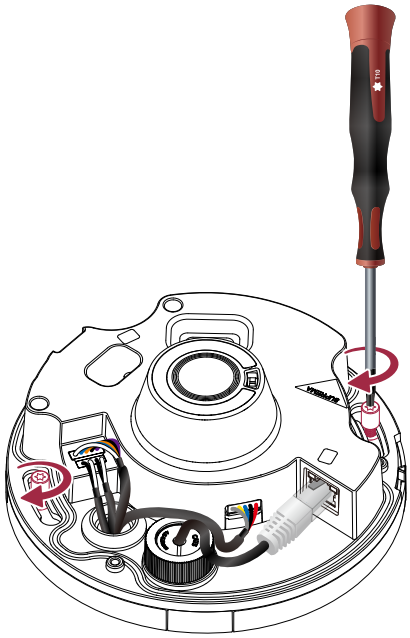


情報

取付角度を調整する必要がある場合は、本体を左右に回転させて最大 15 度（左右各 8 度）まで設置角度を調整できます。

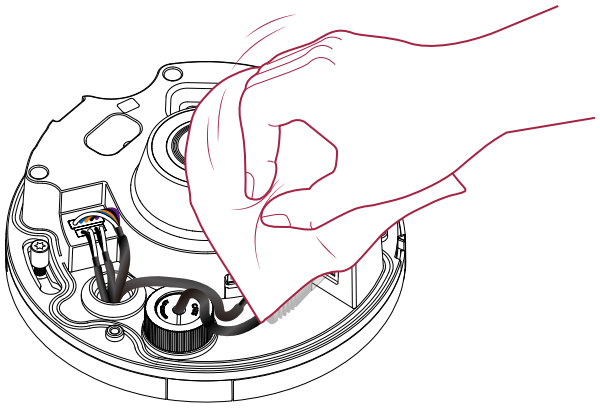


2. T10 星形ドライバーを使用して、固定ネジをもう一度しっかり締めてください。

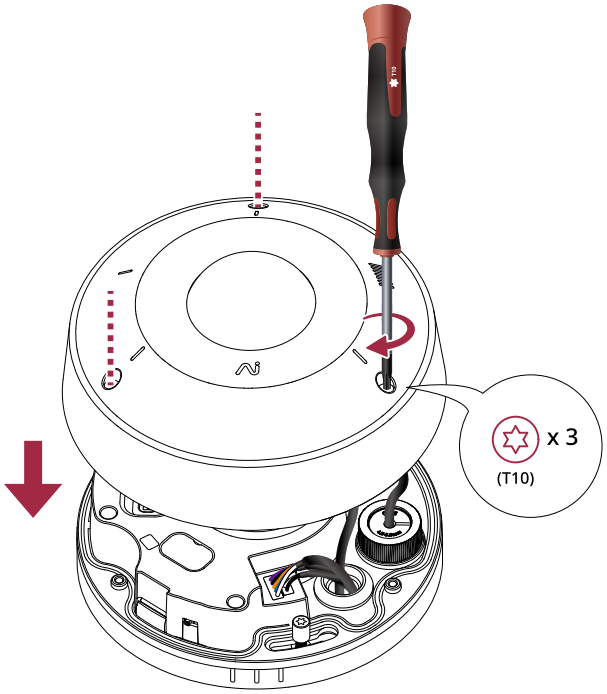


10 仕上げる

1. カメラの性能低下を防ぐため、レンズおよびカバーの内外に付着した異物や油分を、柔らかく乾いた布で拭き取ってください。



2. カバーをカメラ本体に取り付け、T10 トルクスドライバーで 3 本のネジをしっかり締めて固定してください。

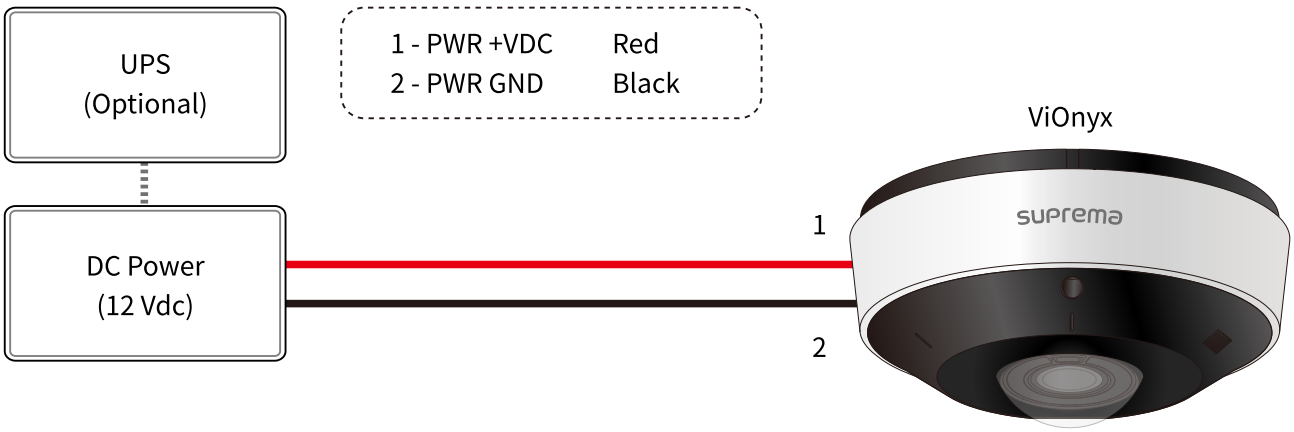


注意

カバーを固定する際にネジを完全に締めないと、防水性能に問題が生じる場合があります。 (IP66/IP67)

ケーブルの接続と設定

電源接続



注意

- 電源装置（またはアダプター）と PoE+ 電源装置を同時に接続しないでください。
- 電源アダプターは IEC/EN 62368-1 の認証を受けた製品で、カメラの最大消費電力以上の出力を持つものを使用してください。電源アダプターに他の機器を同時に接続して使用する場合は、カメラと他の機器の消費電力を合算した容量以上のアダプターを使用してください。
  - 最大消費電流の規格は製品仕様の電源を参照してください。
- 電源を接続する際は製品と電源装置の距離に注意してください。製品と電源装置はできるだけ近くに設置する必要があります。正しく接続しないと製品が誤動作する恐れがあるため注意してください。製品と電源装置の距離が長い場合は 16 AWG または 18 AWG ケーブルの使用を推奨します。本製品の定格電圧は 12 Vdc です。定格電圧以上の電源を印加すると製品が故障する可能性があるため、十分注意してください。各ケーブル規格の最大延長距離を確認し、電源を正しく接続してください。

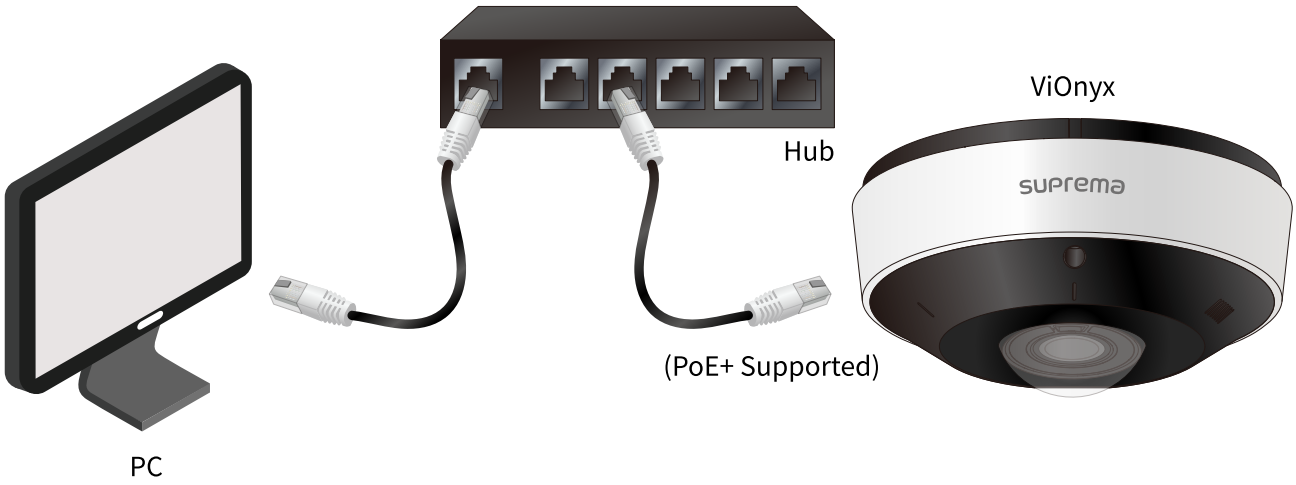
ケーブル規格	最大延長長さ
16 AWG	50 m
18 AWG	30 m
20 AWG	20 m

- 電源アダプターを使用する場合、電源ケーブルの長さを任意に延長しないでください。

ネットワーク接続

TCP/IP: LAN接続（ハブへの接続）

- 一般的な CAT-5e ケーブルを使用してハブに接続できます。
- イーサネットケーブルを介してデータと電力を同時に供給するPoE+に対応しています。



ネットワークポートおよびサービス

本製品はネットワーク通信および円滑なサービス運用のため、以下のポートを使用します。

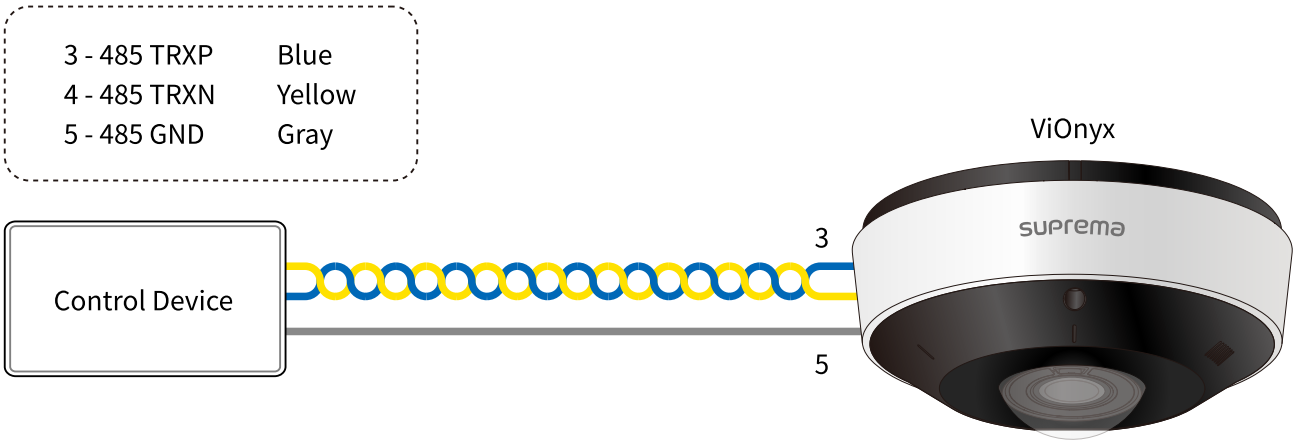
プロトコル	サービス
TCP	サーバーとデバイス間の通信サービスおよびデバイスの運用状態切り替えサービスに使用されます。
UDP	ネットワーク上のデバイス検索サービスに使用されます。

情報
上記のポートは製品の正常なネットワーク機能の提供に必要です。ファイアウォールやネットワークセキュリティの設定を行う際は、これらのポートを許可してください。

RS-485 接続

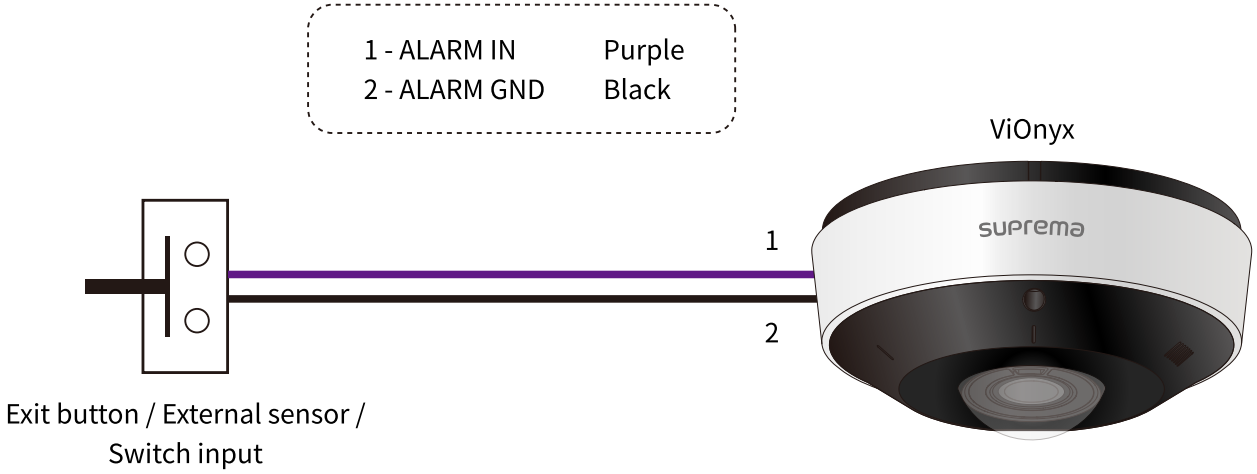
RS-485通信を介して外部機器と接続できます。配線時は極性（A/B）にご注意ください。

- RS-485 ケーブルには AWG24 のツイストペアケーブルを使用し、最大長は 1.2 km としてください。
- RS-485 ケーブルには特性インピーダンス 120 Ω のケーブルを使用することを推奨します。
- RS-485 をデイジーチェーン接続する場合は、デイジーチェーンの両端に終端抵抗（120 Ω）を取り付けてください。中間ラインに接続すると信号レベルが低下して通信性能が落ちるため、必ずデイジーチェーンの両端に接続してください。



アラーム入力接続

外部センサーやスイッチの信号を受信する入力ポートです。

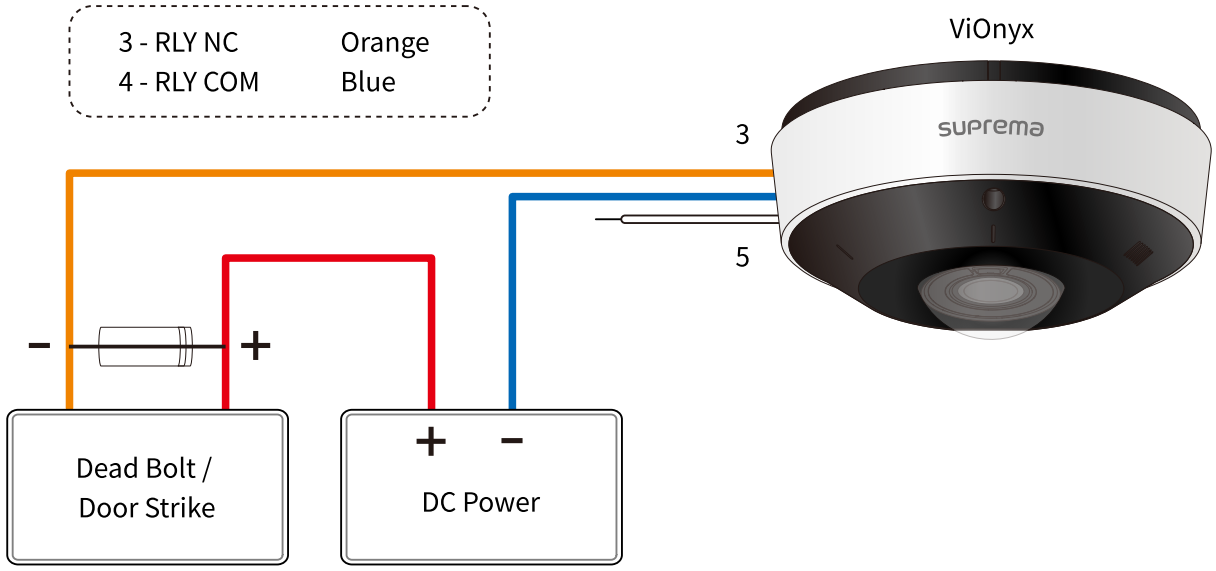


- アラーム入力 VIH：最小 3 V、最大 5 V
- アラーム入力 VIL：最大 1 V

リレー接続

Fail Safe Lock

フェイルセーフロックを使用するには、下図のように N/C リレーを接続してください。 Fail Safe Lock は通常、リレー回路に電流が流れており、リレーが動作して電流を一時的に遮断するとドアが開きます。停電や外部要因で装置の電源が切れた場合、ドアが開きます。



注意

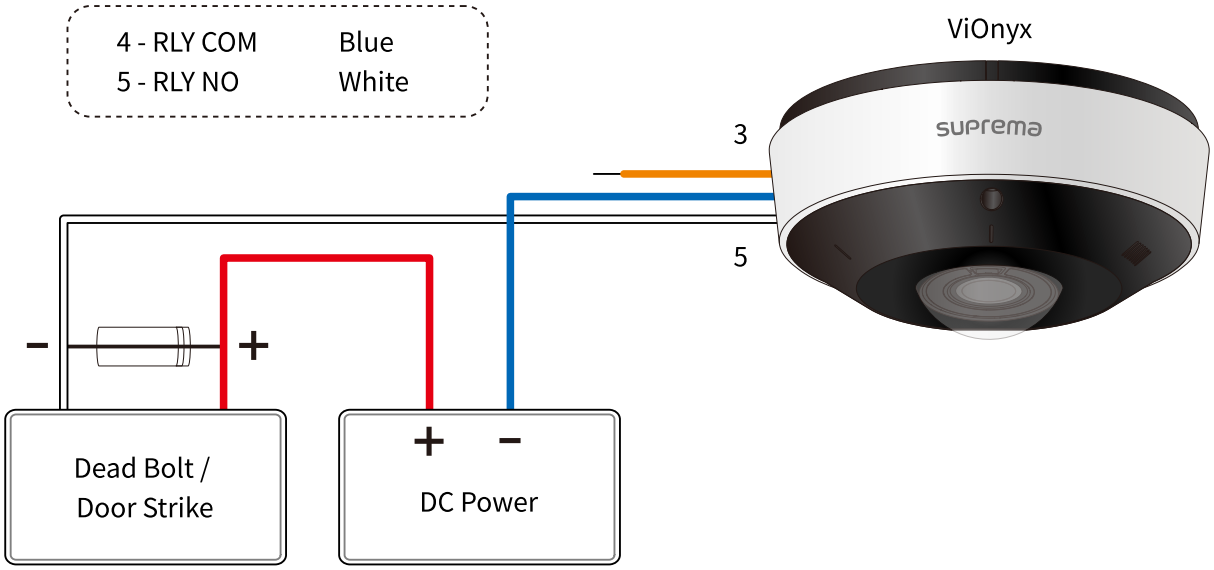
- ドアロックや回転灯が作動したときに発生する逆電流からリレーを保護するため、図のように配線の両側にダイオードを取り付けてください。
- 本製品に接続する外部機器（ドアロック等）には、別の電源を使用してください。
- Suprema のインテリジェントデバイスには、利便性向上のためにコントローラーを介さずスタンドアロンで接続し、扉を直接開閉できるリレーが内蔵されています。しかし、より高いセキュリティが求められる入退室管理アプリケーションでは、扉のロック解除を引き起こす可能性のある改ざん攻撃を防ぐため、デバイス内蔵のリレーを使用しないことを推奨します。このようなアプリケーションでは、ロック制御用に扉内部の安全な位置に設置した Suprema Secure I/O 2、DM-20、CoreStation などの別体リレー装置の使用を推奨します。

情報

ダイオードの取り付け方向に注意してください。ダイオードは接続される外部機器にできるだけ近い場所に取り付けてください。

Fail Secure Lock

フェイルセキュアロックを使用するには、下図のように N/O リレーを接続してください。 Fail Secure Lock は通常、リレー回路に電流が流れず、リレーが動作して電流が流れるとドアが開きます。停電や外部要因で装置の電源が切れた場合、ドアが施錠されます。



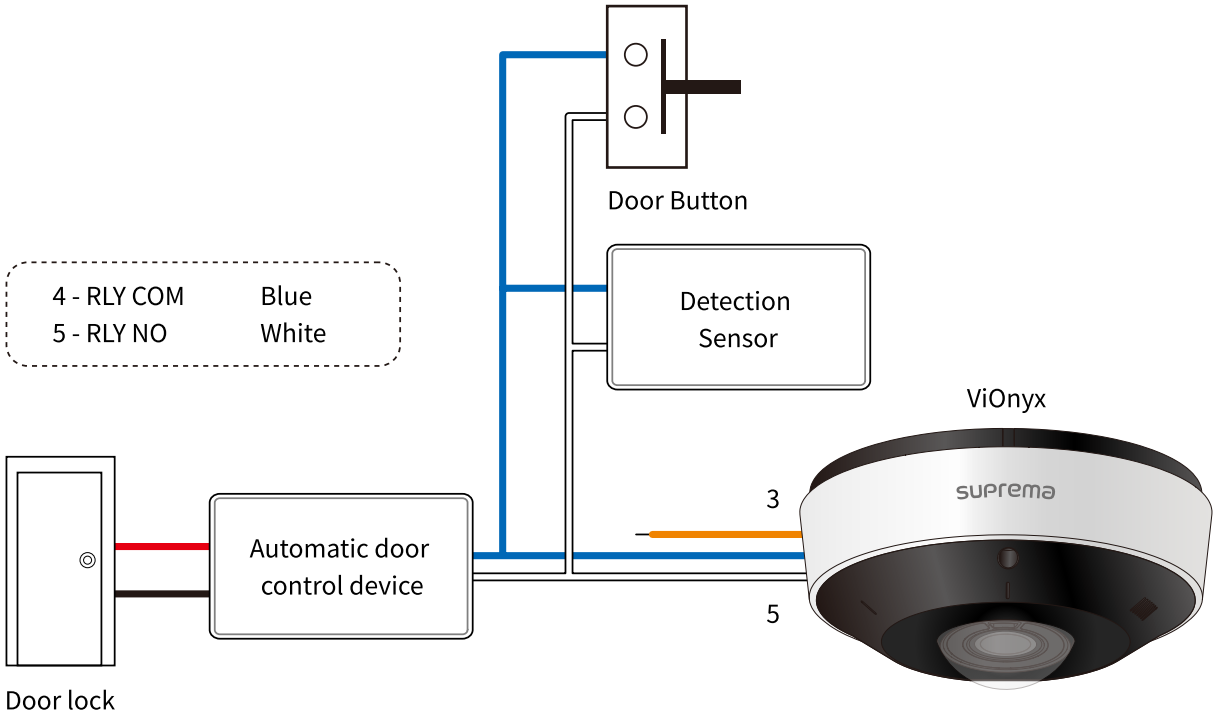
注意

- ドアロックや回転灯が作動したときに発生する逆電流からリレーを保護するため、図のように配線の両側にダイオードを取り付けてください。
- 本製品に接続する外部機器（ドアロック等）には、別の電源を使用してください。
- Suprema のインテリジェントデバイスには、利便性向上のためにコントローラーを介さずスタンドアロンで接続し、扉を直接開閉できるリレーが内蔵されています。しかし、より高いセキュリティが求められる入退室管理アプリケーションでは、扉のロック解除を引き起こす可能性のある改ざん攻撃を防ぐため、デバイス内蔵のリレーを使用しないことを推奨します。このようなアプリケーションでは、ロック制御用に扉内部の安全な位置に設置した Suprema Secure I/O 2、DM-20、CoreStation などの別体リレー装置の使用を推奨します。

情報

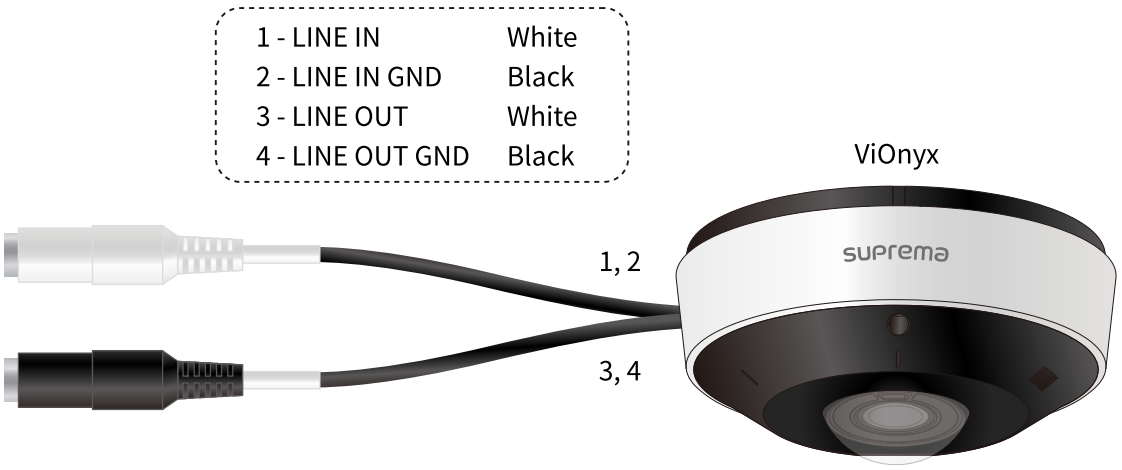
ダイオードの取り付け方向に注意してください。ダイオードは接続される外部機器にできるだけ近い場所に取り付けてください。

自動ドア接続

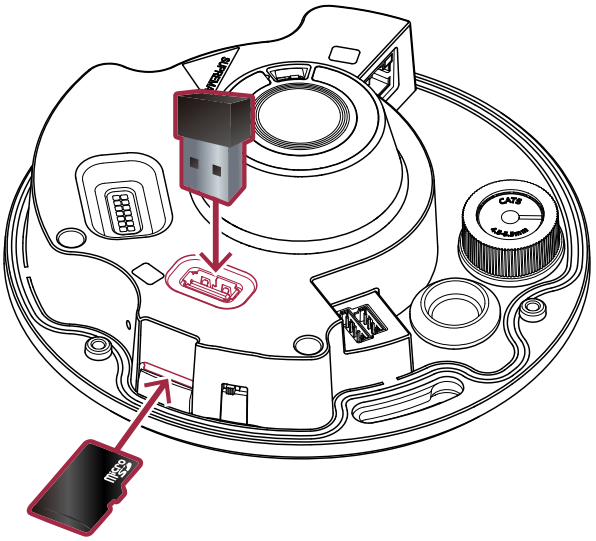


オーディオ接続（対応予定）

- **オーディオ入力（LINE IN）**：オーディオソースを接続してください。本製品は前面にマイクを内蔵しています。
- **オーディオ出力（LINE OUT）**：アンプに接続してください。本製品には内蔵オーディオアンプがないため、別途アンプとスピーカーを用意してください。



Micro SDカードおよびUSBデバイスの接続（対応予定）



- **Micro SD カード**: 映像を保存するには、Micro SD カードを挿入してください。
- **USB**: USB（Type-A）対応のアクセサリを接続してください。

情報

Micro SD/SDHC/SDXC カードの推奨仕様

- 推奨容量：16GB～1TB
- 本製品では、以下のメーカーの製品群のメモリカードの使用を推奨します。
  - メーカー：Samsung、SanDisk、Transcend、Micron
  - 製品群：High endurance、Pro endurance
- カードの互換性はメーカーや種類によって異なる場合があります。

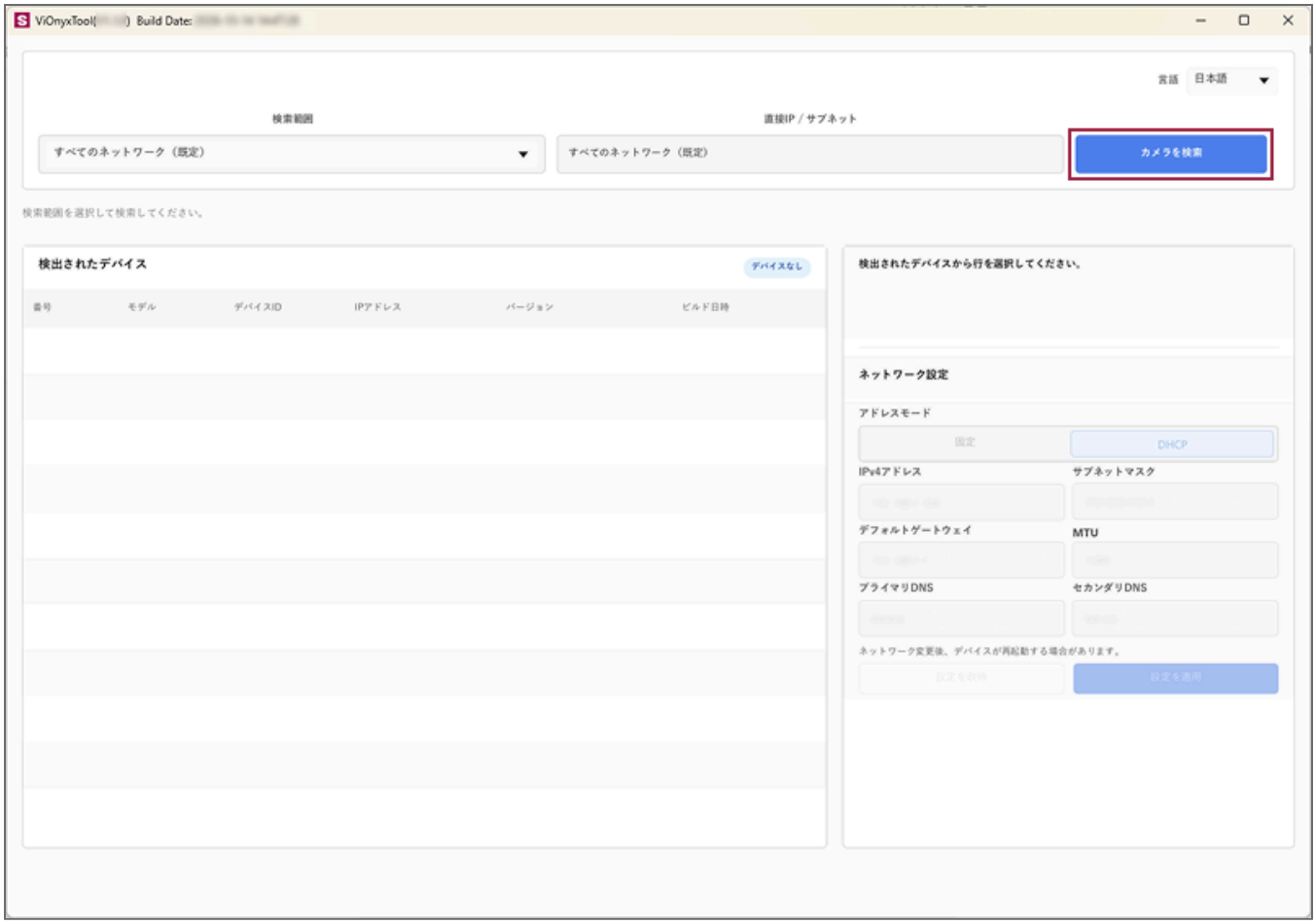
Webサーバーへの接続と設定

ViOnyx Web Server に初めて接続してパスワードを設定し、ログインする方法を説明します。

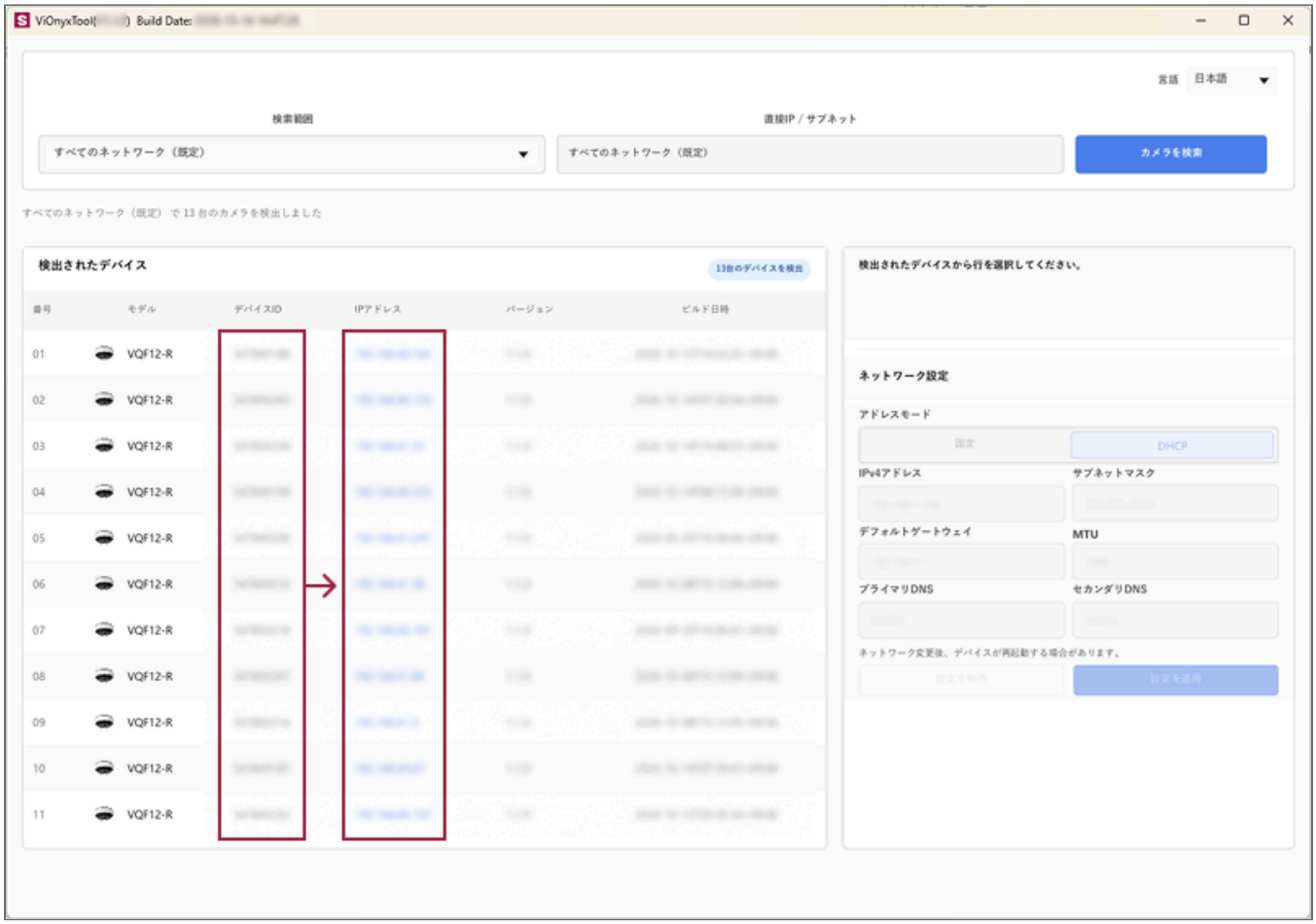
カメラのWebサーバーに接続する

> **情報**
>
> - カメラと同じネットワークに接続されたコンピューターで操作してください。
> - 工場出荷状態に初期化した後、IP アドレスを割り当てられない場合、基本 IP アドレス（https://192.168.1.100）に切り替わります。Web ブラウザーでそのアドレスにアクセスしてください。

1. Suprema 営業所にインストールパッケージ (*VionyxTool.zip*) を依頼してください。
2. インストールファイルの圧縮を解凍した後、*ViOnyxTool_X.X.X.exe* を実行してください。



3. **カメラを検索**をクリックします。
4. 検索されたカメラ一覧で、接続するカメラの**デバイスID**(S/N) を探し、**IPアドレス**を確認します。



5. Web ブラウザーで、カメラに割り当てた IP アドレス（https://{IP ADDRESS}）にアクセスしてください。

   > *例: https://192.168.1.100/*

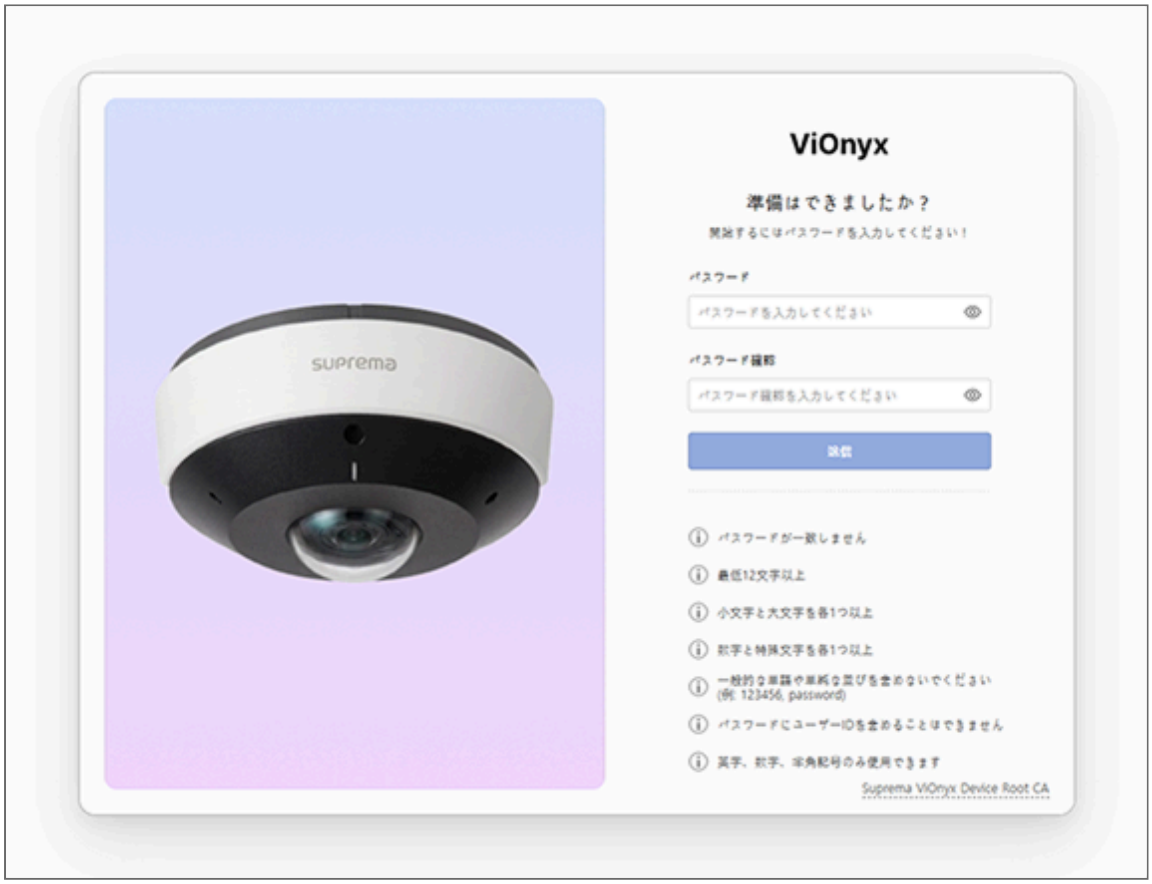
6. ViOnyx Web Server の画面が表示されます。

パスワードの設定

初回接続時にパスワードを設定してください。

1. カメラの Web サーバーに接続するを参照して、Web ブラウザーで、カメラに割り当てた IP アドレス（https://{IP ADDRESS}）にアクセスしてください。

   > *例: https://192.168.1.100/*



2. 以下のパスワード要件を確認してから、**パスワード** 入力欄にパスワードを入力してください。

> **パスワード要件**
> - **長さ**: 12 文字以上 64 文字以下で入力してください。
> - **文字の組み合わせ**: 英大文字(A-Z)、英小文字(a-z)、数字(0-9)、記号(`"` `!` `@` `#` `%` `^` `&` `*` `(` `)` `-` `_` `=` `+` `[` `]` `{` `}`)をそれぞれ1文字以上含める必要があります。
>   - 空白、ハングル文字、その他の Unicode 文字は使用できません。
> - **セキュリティ規則**: セキュリティ上の脆弱性を防ぐため、次のパターンは使用できません。
>   - 4 文字以上の連続した文字または数字（例：abcd、1234、4321）
>   - 同じ文字や数字が 4 回以上連続している（例：aaaa、1111）
>   - ユーザー ID を含む（大文字と小文字は区別されません）
>   - 推測されやすい一般的な単語やパターン（例：password、qwerty）
> - **パスワード確認**: **パスワード** と **パスワード確認** 入力欄の値が正確に一致している必要があります。

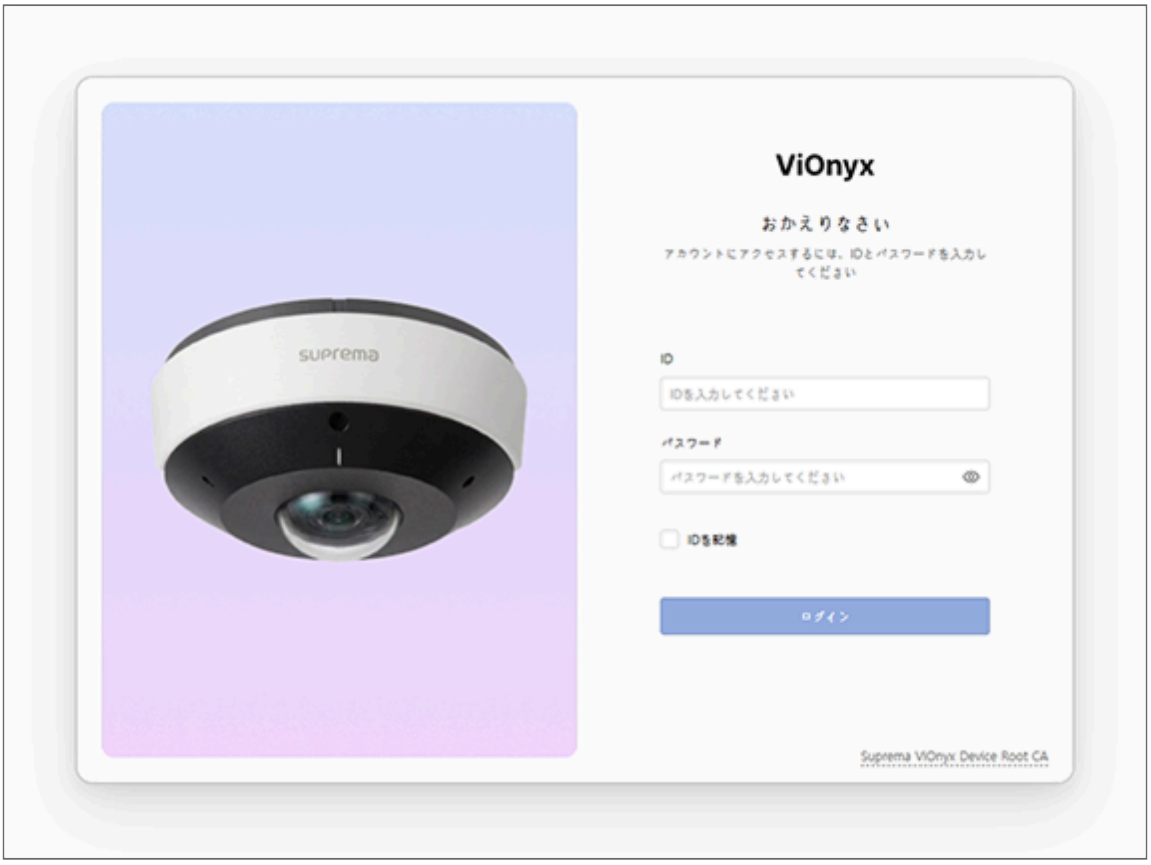
3. **パスワード確認** 入力欄に同じパスワードをもう一度入力してください。

4. すべてのパスワード要件が満たされると、**送信** ボタンが有効になります。ボタンをクリックしてパスワードの設定を完了してください。

> **注意**
> パスワードを紛失しないようご注意ください。パスワードを紛失した場合は、カメラを初期化する必要があります。

ログインする

パスワードの設定が完了すると、ログインページへ自動的に移動します。管理者 ID と設定したパスワードを入力して、ViOnyx Web Server に接続してください。



1. **ID** 入力欄に **admin** を入力してください。
   - 管理者ID（**admin**）は **システム** → **アカウント管理** で変更できます。
2. **パスワード** 入力欄に設定したパスワードを入力してください。
3. **ログイン** ボタンをクリックしてください。ログインに成功すると、ViOnyx Web Server のカメラのライブビューア画面が表示されます。
4. ViOnyx Web Server を参照してカメラを設定してください。

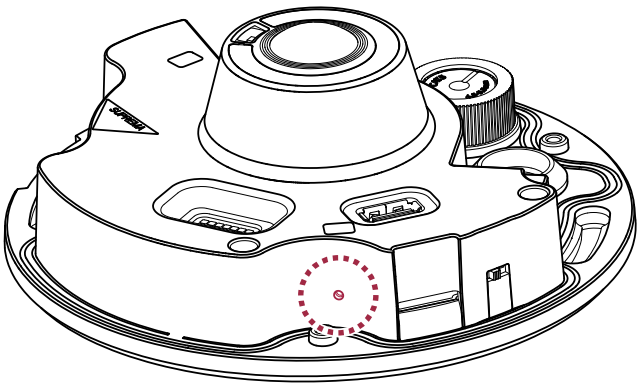
保守・管理

カメラを工場出荷時の状態にリセットし、防湿モジュールを交換する方法を説明します。

工場初期化

カメラに保存されているすべての情報を削除し、設定を初期状態に戻します。

1. カメラに電源を接続した後、初期化ボタンの位置を確認してください。



2. 初期化ボタンを5秒以上押し続けてください。
3. 工場出荷時の初期化が完了すると、カメラは自動的に再起動します。

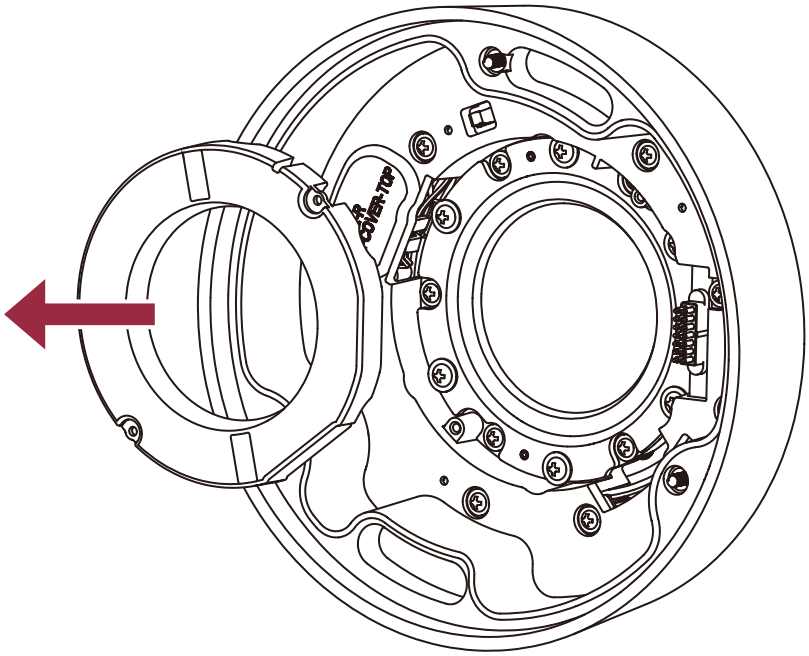
> **注意**
> 工場出荷時の初期化を実行すると、ネットワーク設定を含むすべてのユーザーデータおよび設定が削除されます。

> **情報**
>
> - IPアドレスはデフォルトでDHCPに設定されています。
> - 工場出荷状態に初期化した後、IP アドレスを割り当てられない場合、基本 IP アドレス（https://192.168.1.100）に切り替わります。 Web ブラウザーでそのアドレスにアクセスしてください。

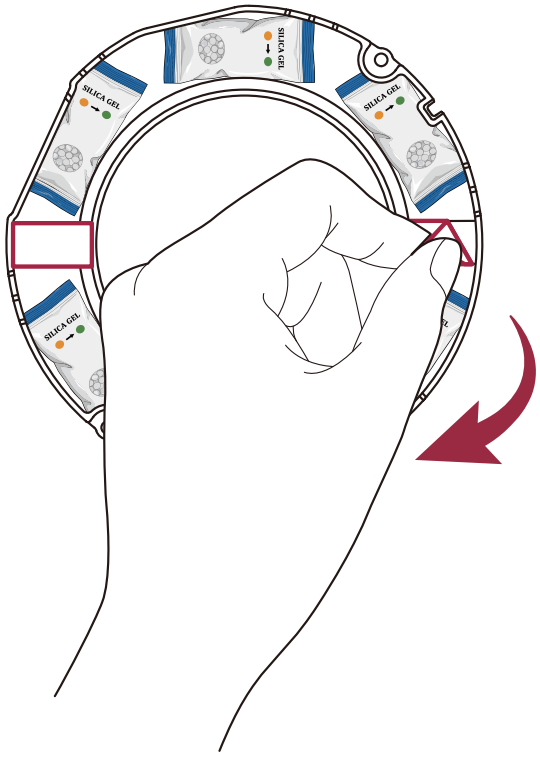
シリカゲルモジュールを交換する

防湿性能を維持するため、少なくとも1年ごとに防湿モジュールを交換することを推奨します。

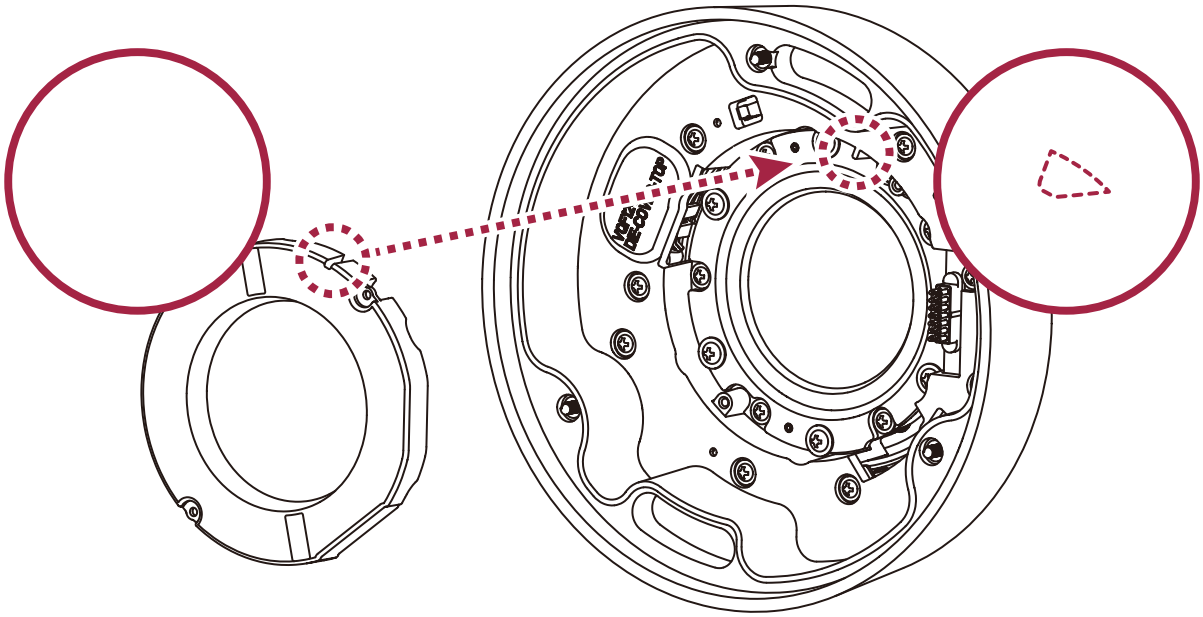
1. 使用済みのシリカゲルモジュールをカバーから取り外してください。



2. 新しいシリカゲルモジュールの背面の保護フィルムをはがしてください。



3. シリカゲルモジュールの溝をカバーの突起部に合わせて貼り付け、手で押してしっかり密着させてください。



注意

- 乾燥剤モジュールは密封包装の状態で提供します。空気にさらすと除湿性能が低下する可能性があるため、貼り付け直前に包装を開封してください。
- 交換周期は設置環境によって異なる場合があります。

情報

- 交換日を記録して、次回交換の時期を管理してください。
- 交換用の防湿モジュールは、製品の購入先でお求めいただけます。

トラブルシューティング

デバイス使用中に発生する可能性のある問題のチェック項目と基本的な解決方法を提供します。

故障報告前の確認事項

デバイスを使用中に発生する可能性のある予期しない問題の解決に役立つ情報を提供します。

電源

Q. 映像が撮影されない、または画面が表示されない場合があります。

- 電源アダプターを使用する場合は、アダプターの出力がカメラの最大消費電力以上であることを確認してください。
- 電源アダプターとPoE+電源が同時に接続されていないことを確認してください。両方を同時に接続すると誤動作の原因になります。
- イーサネットケーブルで電源を供給する場合は、PoE+規格で接続されていることを確認してください。標準の推奨規格はPoE+です。
- ネットワークケーブルの接続状態とイーサネット用の防水ゴムの取り付け状態も確認してください。

設置と使用

Q. カメラを設置した後、映像が傾いて表示されることがあります。

- 壁面に取り付ける場合は、マウントプレートの赤い三角形が12時方向（北）を向くように設置されていることを確認してください。
- カメラ本体を左右に回転させて設置角度を補正できます。最大調整範囲は左右各8度（合計15度）です。範囲を超える角度調整が必要な場合は、マウントプレートの取り付け穴の位置を変更して再設置してください。

Q. Windows 10でChromeやFirefoxのブラウザからWebサーバーにアクセスした際、マイクの音量が周期的に変動することがあります。

- マイクドライバーがRealtekドライバーに設定されている場合に発生する現象です。マイクドライバーをHigh Definition Audioデバイス（Windowsの既定ドライバー）または他社製ドライバーに変更してインストールしてください。

Q. イベント時のオーディオ再生に必要なWAVEファイルの仕様は何ですか？

- サンプリングレート（sampling rate）は 24,000 Hz または 48,000 Hz の使用を推奨します。
- サンプル当たりのビット数（bits per sample, bps）は 8 bit または 16 bit の使用を推奨します。
- PCM でエンコードされた形式のみをサポートします。

Q. 映像が見えません。

- 映像送信方式がマルチキャストに設定されている場合、カメラが接続されているローカルネットワークにマルチキャストをサポートするルーターがあるか確認してください。

Q. 映像解析イベントが発生したのにアラームが作動しません。

- アラーム出力ポートが正しく設定されているか確認してください。

Q. ブラウザーからカメラに接続できません。

- カメラのネットワーク設定が正しいか確認してください。
- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- DHCP 接続の場合、カメラが正常に IP アドレスを取得しているか確認してください。
- カメラがルーターに接続されている場合、ポートフォワーディングの設定が正しいか確認してください。

Q. 映像を監視していた Web サーバーの接続が切れました。

- 他のユーザーがカメラ設定やネットワーク設定を変更した場合、接続中のウェブサーバーは切断されます。
- ネットワーク接続が正常か確認してください。

Q. ネットワーク上のカメラが検出されません。

- ファイアウォールやネットワークのセキュリティ設定により機器の通信がブロックされている可能性があります。機器の検出および通信に使用するポート（TCP、UDP）がネットワーク環境で許可されているか確認してください。

Q. Micro SD カードに録画されません。

- Micro SD カードが不良かどうか確認してください。
- Micro SD カードを交換する際は、必ず製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態で交換してください。

Q. Micro SD カードを挿入したが、認識されません。

- Micro SD カードが正しい向きでしっかり挿入されているか確認してください。他の機器でフォーマットした Micro SD カードは本機での使用を保証できません。
- カードの容量（推奨 16GB～1TB）とメーカー（Samsung、SanDisk、Transcend）が推奨仕様に適合しているか確認してください。High Endurance や Pro Endurance など、継続的な書き込みに適した製品の使用を推奨します。メーカーや製品ラインによって互換性に差が出る場合があります。

Q. カメラ内部に湿気や水滴がたまります。

- カバーを取り付けた後、3本の固定ネジが完全に締まっているか確認してください。ネジを完全に締めていないと、防水/防塵（IP66/IP67）の性能に問題が生じることがあります。
- イーサネットケーブルやその他の接続ケーブルを配線する際、付属のイーサネットケーブル用防水ゴムやジョイント、ナットなどが隙間なく正しく取り付けられているか確認してください。使用していない穴には防水ゴム製のホールプラグを最後まで挿入してください。

Q. AI の顔および物体認識性能が著しく低下しています。

- レンズに直射日光が当たる場所や逆光が強い場所に設置されていないか確認してください。光のにじみや逆光はAIの認識率低下の主な原因になります。

製品仕様

製品のサイズ、機能、性能などの主要な仕様情報を提供します。

一般

モデル名	**VQF12-R**	
拡張メモリ	**MicroSD、SDHC、SDXC サポート（最大 1 TB）**	
動作温度	**-40 °C ~ 50 °C**	
保管温度	**-40 °C ~ 70 °C**	
動作湿度	**0 % ~ 90 %（結露なきこと）**	
保管湿度	**0 % ~ 90 %（結露なきこと）**	
寸法 (W x H x D)	**機器**	**155.5 x 155.5 x 68.9 (mm)**
	ブラケット	**148.15 x 148.15 (mm)**
重量	**機器**	**1.8 kg**
	ブラケット	**188 g (ワッシャーおよびボルトを含む)**
IP等級	**IP66、IP67、NEMA 4X**	
IK等級	**IK10**	
認証	**CE、UKCA、KC、FCC、IC、RCM、VCCI、RoHS、REACH、WEEE**	

カメラ

イメージセンサー	**1/1.6" 1200 万画素 (3520 x 3520)**
レンズ	• **焦点距離：1.7 mm** • **絞り：F2.0**

視野角（FOV）	**180° (最小距離：50 cm)**
最低照度	• **カラー：0.01 lux 以下** • **IR：0 lux**
ズームおよび PTZ	• **デジタルズーム 12 倍以上** • **ePTZ サポート**
赤外線 LED	**10 個（IR カットフィルターサポート）**

映像・音声

映像圧縮	**H.265、H.264、MJPEG**
WDR	**120 dB**
音声	• **スピーカー** • **内蔵マイク**[1)]

インターフェース

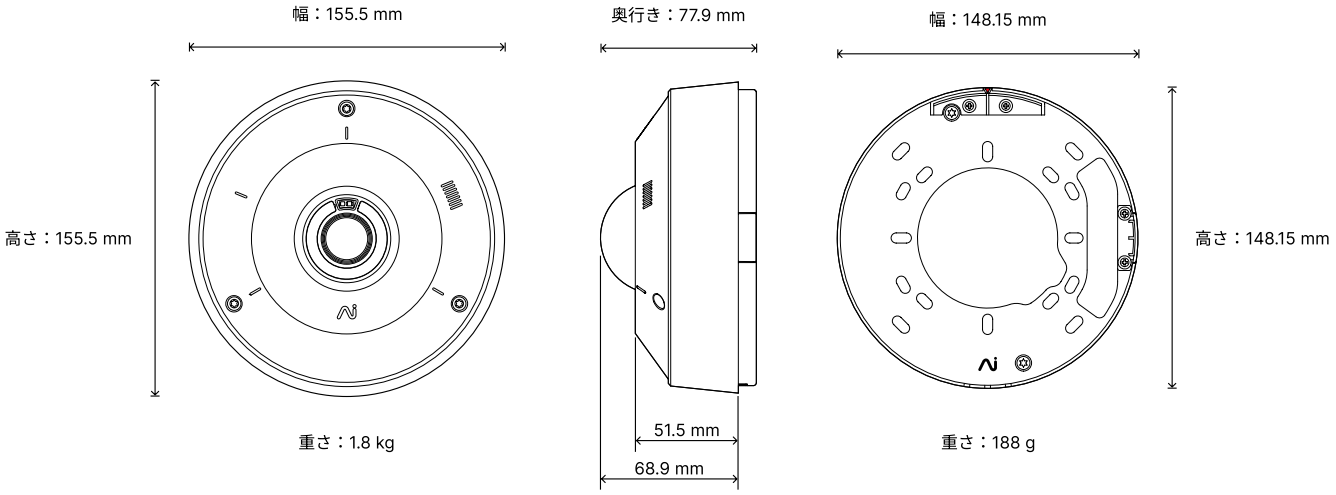
イーサネット	**サポート対象（10/100/1000 Mbps、自動 MDI/MDI-X）**
ネットワークプロトコル	**ONVIF (Profile S, T)**
RS-485	**1 チャンネル**
RS-485通信プロトコル	**OSDP V2 準拠**
アラーム	**1 チャンネル入力**
リレー	**1 リレー (1 A @ 30 VDC)**
音声[1)]	• **1チャンネル入力 (LINE IN、対応電圧：2.5 VDC)** • **1チャンネル出力 (LINE OUT、最大出力：1 Vrms)**

PoE	**対応（IEEE 802.3af 互換）**
PoE+[2)]	**対応（IEEE 802.3at 互換）**
RTSP	**対応**
USB[1)]	**USB Type-A**
タンパー	**対応**
Micro SD カードスロット[1)]	**対応**

電気仕様

電源	**12 VDC / PoE / PoE+**	
消費電力	**PoE**	• **最大 12.95 W** • **12 VDC：1.08 A**
	PoE+	• **最大 23 W** • **12 VDC：1.92 A**
アラーム入力 VIH	• **最小：3 V** • **最大：5 V**	
アラーム入力 VIL	**最大：1 V**	

サイズと重量



1) 将来的なファームウェア更新でサポート予定です。

2) PoE+ (IEEE 802.3at、30 W) 電源の使用を推奨します。標準 PoE を使用する場合、システムの消費電力によって製品の一部機能が制限されることがあります。

情報

製品仕様は性能向上のため予告なく変更されることがあります。

規制認証情報

製品が準拠する規制および認証に関する情報を提供します。

FCC 準拠情報

本機器は FCC 規制 Part 15 に準拠しています。

動作は次の 2 つの条件に従います。

1. 本機器は有害な干渉を発生させません。
2. 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

情報

本機器は、FCC 規則 Part 15 に基づく Class A デジタル機器の制限に適合することがテストにより確認されています。 これらの制限は、機器が商業環境で動作する際に有害な干渉から合理的な保護を提供するために設計されています。 本機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射するため、指示に従って設置および使用しないと無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。 本機器を住宅地域で使用すると有害な干渉が発生する可能性があり、その場合、干渉を解消する費用は使用者が負担しなければなりません。

適合性責任者が明示的に承認していない製品の変更または改造は、本製品を操作するユーザーの権限を無効にする場合があります。

本送信機は、他のアンテナまたは送信機と一緒に配置または運用してはいけません。

本機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC の放射曝露制限に準拠しています。 ユーザー（または付近の他の人）と本製品のアンテナとの間に少なくとも 20 cm の距離を保ってください。 本機器およびそのアンテナを、他のアンテナまたは RF 送信装置と一緒に設置または運用しないでください。

IC 情報

本機は Industry Canada の免許不要 RSS に適合しています。

動作は、次の 2 つの条件に従います。

1. 本機は干渉を発生させてはなりません。また、
2. このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L’exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. l’appareil ne doit pas produire de brouillage ;
2. l’appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d’en compromettre le fonctionnement.

欧州連合適合宣言（CE）

本製品は、以下の欧州指令および規格に従って、CE マーキングの試験を完了しています。

- 電磁両立性指令 2014/30/EU

詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください。

Suprema Inc.

住所： 17F-5, Parkview Office Tower, 248, Jeongjail-ro, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Republic of Korea

電話：+82-31-783-4502/Fax：+82-31-783-4503

付録

製品に含まれる法的通知事項を掲載しています。

免責事項

- このウェブサイトは、Suprema製品に関する情報を提供します。
- このウェブサイトは、Supremaの製品使用および販売契約に含まれるSuprema製品にのみ使用できます。 このウェブサイトは、明示的、黙示的、禁反言の原則、またはその他いかなる方法によっても、知的財産権に対するライセンスを付与しません。
- お客様とSupremaとの契約に明示されている場合を除き、Supremaは一切の責任を負わず、特定目的への適合性、商品性、非侵害に関するあらゆる明示的または黙示的保証を否認します。
- 保証が無効となるのは、次の場合です。Suprema製品が 1) 誤って設置される、またはハードウェアのシリアル番号、保証情報、品質保証ステッカーが変更または除去された場合、2) Supremaが許可した方法以外で使用された場合、3) SupremaまたはSupremaが承認した以外の者によって変更、改造、修理された場合、4) 不適切な環境で運用または保守された場合。
- Suprema製品は、製品の故障が負傷や死亡事故につながる可能性のある医療、救命、生命維持などの用途向けに設計されていません。 お客様がこのような用途でSuprema製品を購入または使用する場合、これに起因する負傷または死亡によって発生するすべての請求、費用、損失、支出および合理的な弁護士費用から、SupremaおよびそのメンバーⅠ、子会社、関連会社、供給業者を免責するものとします。 製品の設計または製造にSupremaの過失があると主張される場合でも同様です。
- Supremaは、信頼性、機能または設計を向上させるため、予告なくいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。
- 個人情報は、製品使用時に認証メッセージおよびその他の関連情報の形でSuprema製品に保存されることがあります。 Supremaは、Supremaが直接制御できない、または関連契約に明示されたSuprema製品に保存される個人情報を含むいかなる情報についても責任を負いません。 個人情報を含む保存された情報を使用する場合、製品ユーザーは関連法（例：GDPR）を遵守し、適切に取り扱いおよび処理する責任があります。
- お客様は、いかなる機能の欠如や特性、または"reserved"や"undefined"と表示された説明に依存してはなりません。 Supremaは後日これを定義することができ、後日行われた変更が現行内容と矛盾した場合でも、Supremaは責任を負いません。
- 本サイトに明示的に記載されている場合を除き、Supremaは法律で許容される最大範囲で"現状のまま"販売されます。
- 製品を注文する前に、最寄りのSuprema営業所または代理店に問い合わせ、最新の仕様を確認してください。

著作権に関するお知らせ

本ウェブサイトの著作権は Suprema に帰属します。その他の製品名、商標、登録商標に関する権利は、それぞれの所有者である個人または団体に帰属します。

オープンソースライセンス

本製品には以下に記載のオープンソースソフトウェアが含まれています。使用条件については、本通知の後に記載されている該当するオープンソースライセンスをご確認ください。

オープンソース	ライセンス	著作権
bluenviron/mediamtx	MIT	Copyright (c) 2019, aler9
bytedance/sonic	Apache-2.0	Copyright (c) 2021, ByteDance Inc.
bytedance/sonic/loader		
cespare/xxhash/v2	MIT	Copyright (c) 2016, Caleb Spare
cloudwego/base64x	Apache-2.0	Copyright (c) 2023, CloudWeGo Authors
davecgh/go-spew	ISC	Copyright (c) 2012-2016, Dave Collins
dgryski/go-rendezvous	MIT	Copyright (c) 2017-2020, Damian Gryski
disintegration/imaging	MIT	Copyright (c) 2012, Grigory Dryapak
dustin/go-humanize	MIT	Copyright (c) 2005-2008, Dustin Sallings
eclipse/paho.mqtt.golang	EPL-2.0 / EDL-1.0	Copyright (c) 2021, IBM Corp and others
esimov/pigo	MIT	Copyright (c) 2018, Endre Simo
gabriel-vasile/mimetype	MIT	Copyright (c) 2018, Gabriel Vasile
gin-contrib/cors	MIT	Copyright (c) 2016, Gin-Gonic
gin-contrib/sse	MIT	Copyright (c) 2014, Manuel Martinez-Almeida
gin-gonic/gin | v		
goccy/go-json	MIT	Copyright (c) 2020, Masaaki Goshima
golang-jwt/jwt/v5	MIT	Copyright (c) 2012, 2021, Dave Grijalva, golang-jwt maintainers

オープンソース	ライセンス	著作権
google/uuid	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2009-2014, Google Inc.
go-playground/locales	MIT	Copyright (c) 2016, Go Playground
go-playground/universal-translator		
go-playground/validator/v10	MIT	Copyright (c) 2015, Dean Karn
gorilla/websocket	BSD-2-Clause	Copyright (c) 2013, The Gorilla WebSocket Authors
json-iterator/go	MIT	Copyright (c) 2016, json-iterator
klauspost/cpuid/v2	MIT	Copyright (c) 2015, Klaus Post
kr/text	MIT	Copyright (c) 2012, Keith Rarick
leodido/go-urn	MIT	Copyright (c) 2018, Leonardo Di Donato
mattn/go-isatty	MIT	Copyright (c) Yasuhiro MATSUMOTO
mitchellh/mapstructure	MIT	Copyright (c) 2013, Mitchell Hashimoto
modern-go/concurrent	Apache-2.0	Copyright (c) 2018, Tao Wen
modern-go/reflect2		
ncruces/go-strftime	MIT	Copyright (c) 2022, Nuno Cruces
pelletier/go-toml/v2	MIT	Copyright (c) 2021-2023, Thomas Pelletier
pmezard/go-difflib	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2013, Patrick Mezard
redis/go-redis/v9	BSD-2-Clause	Copyright (c) 2013, The github.com/redis/go-redis Authors
remyoudompheng/bigfft	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2012, The Go Authors
stretchr/testify	MIT	Copyright (c) 2012-2020, Mat Ryer, Tyler Bunnell and contributors.
tidwall/gjson	MIT	Copyright (c) 2016, Josh Baker
tidwall/match		
tidwall/pretty	MIT	Copyright (c) 2017, Josh Baker

オープンソース	ライセンス	著作権
tidwall/sjson	MIT	Copyright (c) 2016, Josh Baker
twitchyliquid64/golang-asm	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2009, The Go Authors
ugorji/go/codec	MIT	Copyright (c) 2012-2020, Ugorji Nwoke
wI2L/jsondiff	MIT	Copyright (c) 2020-2025, William Poussier
glibc	LGPL-2.1-or-later	Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
go.uber.org/atomic	MIT	Copyright (c) 2016, Uber Technologies, Inc.
golang.org/x/arch	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2015, The Go Authors
golang.org/x/crypto	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2009, The Go Authors
golang.org/x/exp		
golang.org/x/image		
golang.org/x/net		
golang.org/x/sync		
golang.org/x/sys		
golang.org/x/text		
google.golang.org/protobuf	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2018, The Go Authors
gopkg.in/yaml.v3	MIT / Apache-2.0	Copyright (c) 2006-2019, Kirill Simonov / Canonical Ltd
GStreamer 1.0	LGPL-2.1-or-later	Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
hiredis (Redis)	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2009-2011, 2010-2011, Salvatore Sanfilippo, Pieter Noordhuis
libgpiod	LGPL-2.1-or-later	Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
Linux Kernel 5.x (GPL)	GPL-2.0-only	Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
Lua	MIT	Copyright (c) 1994-2012, Lua.org, PUC-Rio
modernc.org/libc	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2017, The Libc Authors
modernc.org/mathutil	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2014, The mathutil Authors

オープンソース	ライセンス	著作権
modernc.org/memory	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2017, The Memory Authors
modernc.org/sqlite	BSD-3-Clause	Copyright (c) 2017, The Sqlite Authors
OpenCV	Apache-2.0	
OpenSSL		
Pretendard (webfont files)	SIL Open Font License 1.1	Copyright (c) 2021, Kil Hyung-jin, with Reserved Font Name Pretendard
simdjson	Apache-2.0	
SQLite3	Public Domain	
zlib	zlib License	
zstd	BSD-3-Clause	Copyright (c) Meta Platforms, Inc. and affiliates

本製品に含まれる Linux カーネル 5.x ベースで改変されたソース、および glibc、GStreamer 1.0、libgpiod ライブラリは、Suprema サポートチームまでお問い合わせいただくことでダウンロードできます。

カメラ設置の注意事項

公共の場所にカメラを設置する際は、次の注意事項を守ってください。

> **注意**
> 関連法令に違反した場合、違反の内容や重大性に応じて過料または罰金が科されることがあります。

許可された目的のみに設置

- 犯罪防止、施設の安全確保、火災予防など、指定された目的のみに設置してください。
- 個人のプライバシーを侵害するおそれのある場所（入浴室、トイレ、サウナ、脱衣室など）には設置しないでください。

案内板の掲示義務

- カメラの設置目的、撮影場所および範囲、管理責任者の連絡先を含む案内板を、利用者が容易に確認できる場所に掲示してください。

無断操作および録音の制限

- 本来の設置目的と異なる目的でカメラの角度を変更したり、無断で操作したりしないでください。公共の場所では、関連法令により録音機能を使用できません。

映像情報の無断流出および公開の制限

- 個人の映像情報を提供する際は、本人確認を行った上で、必要最小限の情報のみを提供してください。他人の顔が含まれる映像は、モザイク処理などで保護してください。

運用および管理方針の策定

- 映像情報の管理責任者を指定し、ホームページなどアクセス可能なチャネルを通じてカメラの運用および管理方針を明示してください。

映像情報保護のためのセキュリティ対策

- 許可された管理者のみが映像にアクセスできるように制限してください。各管理者に個別アカウントを付与し、物理的な施錠などのセキュリティ対策を講じてください。

Suprema Inc.

17F Parkview Tower, 248, Jeongjail-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Rep. of KOREA

電話: +82 31 783 4502 | Fax: +82 31 783 4503 | お問い合わせ: sales_sys@supremainc.com

Supremaのグローバル支社の詳細については、
QRコードをスキャンして以下のWebページにアクセスしてください。
https://www.supremainc.com/en/about/contact-us.asp

© 2026 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。